に甘原始尹、曾田魯顕委忠で祖かれた彼られる人は居永少將、中

異動の人々を送る一座異動と見喚知事

する好意の表明と見做し四日文のし、これにより辞書政府の内政不一革命軍の本様スータに張込み、革制技の訪問を見て明に革命軍に對」との豪道はロンドン外交界を到戦。既ドイツチェランド繋がスペイン

【パリ四日同盟】ドイツ海軍の精

|で限重を肺し臓器を人手するまで| の不妊に難误してゐるが、四日彼見で居る、但し些固然所は過くま| 道にフランス政府は竟然大戦前夜||円滤提離を合即低するに至つたと||総算と続りに交觸してゐるとの報

なる能療的筋間に過ぎぬといはれ に亘つて館見を選げた、館見は町の總司令フランス將軍を訪問時能

股技がスペイン革命電器司令官プ 【ロンドン四日同盟】ドイツ海軍

災は三日午前スータ港に投錨、艦

主力艦ドイツチエランド號外一

好意の象徴と解釋

町

沙堤臓に好意を持つに至ったこと

ンエリザベス號は四日午後ジブラ

川タル出港バルセロナ、アリカン

り英國政府は帰國政府の不干

革命軍有力者語る

午後マドリッド 壁間 ヴエネジエラ

を英が受諾決定

〜巡洋艦デウオンシャー號は四日

ジプラルタル四日同盟』イギリ

英軍艦避難民收容

とは明に革命軍に對する好意の時間條に亘つて蘇談を遂げたと

投以下来組將校は直に上陸革命軍

帯を出館マルタ島を経由して昭美」を監察することに決した

戦前夜の不安に

戦慄する佛政府

るが革命軍契育力者はドイタ海軍一ランコ將軍を訪問敬忌を表明した

信日本の名聲をあぐべく形務、 正確と早さを以てサービスし、 総紀の表現は今後同郡郷に披華軍(の必須生と関端候衆を退應に詳細する新内峰相、馬車戦和の出軍的「周基戦和に對し関院氏定能渉跡行うる諸内峰相、馬車戦和の出軍的「周基戦和に対し関院氏定能渉跡行

無線電器網の擴充及び

北質現を計劃

オリムピツク招致の願望漸く成就したので

遞信當局維備

あくまで阪田、馬基兩相を鞭一面目にかけても話外国より以上の

ドン乃至ベルリン中穏で並じてリーその他全コーロッパはロン

を進む 十四年中に完成する、國際電話 四線による頁近回線に確かに了、 ロ線による頁近回線に確かに了、 ニラ、ジヤバ、上海、西貫、第 ニラ、ジヤバ、上海、西貫、第

| 静選製は座よ九月廿日割行される

四月東京際に下車したところをに関すている。近日では新聞者に入りかこ。まれて悲いたれ、京日の記者とつれたし、の五用で中野の兄をたづれた。でき、五日午後郷土の部分であり、五日では新聞社の人とは話さな。 に目下移映調金中である、京城府が有磁者数は八月一日現在を悲嘆

出張所や電話局を設け、その中に一一、無線電信電話網の擴充

張り、國際競技場に一部局程度の一通りである づ則外無線電信電話網を発出外に

進めて居る、この制徴によると先|元を抑さうとすばらしい制強を進 **砂當局は大重となつて準備計説を**|非とも貨域し、無機適信界に新記

めて居る、混信省の計選案は左の

は避る に早くもつめかける組続ひ答に交 で刺を通じると一やあし」と弦

選舉有權者數

署長會議

京城增員府議

につき協議打合館を来週中に明く では塑機に備へ選続事務分格要項 政革兩軍の空中戦

首相に怠慢を警告か

新政策は依然店晒

重報日 (水)

電話龍山七三二

荒井のお乳

電本局一〇〇四

ギリシヤ首相

性を再認識せしめ、故國政府に 祇虺とベルに於ける邦人の重要 、故國の朝野に向け時局の緊迫 関の関新を期するため外交機 町し在留民保護に對する積極的

上式發介さる

す意向のやうであるか味に於て重大進言をな意慢に關し警告する意

に至った(漫画は寺内陸相) 座相の進退は極めて重大視される ら、國策上程限議を坚へて勢内

部段前に離化熨山に励するベル大。 近長高雄原石街門氏は日本人移民 「リマ四日間盟」ベル日本人商委

闘する動合は五日公布施行された 【東京電話】 朝鮮銀道職員増加に れず、五日午後二時盲用宮邸で版

鐵道職員增加

在ベル在留民大會委員長

高雄原右衛門

観任された大野隊一郎氏に對して

器中のため製団式を行はせら

任朝鮮總督

獨一制宣言

中旬ころ辭任

(東京電話) 敷育は四日語館總督 | して雪底院藤町大家電景氏起形

世にする方針であり、その後位と一見られる てみないので暫く覚性するものと はから方針で配備を進めてある。、気性を棄性として規想及前に限退官の更迭を行ひ、その人事関系を、最性を棄性として規想及前に限退 共に八月中に転定方針通り外地長 次に林庵洋長首については永田の販佐を行ふに至つたが、これと もあるか末だ決定を見てるない



阆 依願冤本官(音通) 弱幹總督斯政務總監

任朝鮮總督府

門總督を訪

猛烈な強難を展開し、双方とも多び革命軍飛行機十數率人り聞れて 著他の二機はスータに顕遺した複激素の後革命軍水上機二魔は不時大の擬態を蹴つたと解へられる、 六日から開催 鑑工の登託師を順行すべく目下のを倒づけるので本府衛生課では れでは動物変漫の精神にも反 ない孝人が叩きつけてゐるが、 れる暗聴は従来何等の經驗も持 立案を急ぐ一とも去の蹄跋工死許制一馬の生

決定の上でゆつくり曾ふことにいことにしてゐるが、何れ正式

内事が打合せ、武道大宮の那党、間が、晋内状況報告、三日目は部

知事の副示あり今後は指示社意事道理器室で開催、第一日目は安井 九日まで下村野祭部長統裁の下に 京器宣管内の署長館職は六日から

◇吉出久兵衛氏へ大敗衛戍病院長 ◆大野宜明氏(福井線隊協同令官 | はないま、 ・ では入日午郎十 ここへ、もつとぎゆッと唇を附け時五十六分龍山殺獣任 | てっ……』 (壁販政務) 四日午

功器は巨星の如く長く尾をひく宇宙器登葃す、鮮せどもその くと伸ばしつゝある、花朗き質 産業朝鮮はその若芽をすくす 田平八氏(朝迎重役)五日午 天地玄黄

を結ぶのも近きにあるであらう 手で自らの配感しを外した。する ら、自分で配ほしを取つて御歌』 「でもまア、あたしゃどうしよう **うな室持ちにまでなつてゐた圧吉** 「もうい」上上古。それでい」か 類を押當てた。 今ははや何やら遅ぎたくないや

「はい。勿臓ない」

る眼は飽かず織いつか出言の醪

語するものである 語するものである 語するものである 以上の事實に照しスペイン政府は

ガル回回政府を加へた協

することとなつた、主力艦クイー

難民を収容四日午後ジブラルタル 不干沙震議に對し限期としてこれ 使べーク氏以下四百六十八名の避一府はフランス政府のスペイン内記 公使オテヨラ氏、ノールウエー公「ロンドン四日同盟」イギリス政

割フランス大使コルバン氏は四日 當然抗融を起すべきである スペイン内電子沙に関するフラン 【ロンドン四月盟同】ロンドン駐

回答を督促し、ドイツ軍艦ドイツ ス政府の提議に關しイギリス側の

と力説した、フランス政府の特化

の回答を接受次第意にイタリー
Collett、コランス政府はイギリス政府がつかぬところから、前へ突出し

そこに何事が起るのやら一向見雷 ひしてのておくれ」
がつかぬところから、前へ突出し 『お殿郡――』 『お殿郡――』 『お殿郡――』 なのでいった。 を削へ出して御覧。 るるのだえ。ちょつとも心配する **『庄吉、なんでそんなに怖がつてなつて行つた。** ことはないから、

もつとずつと首

関係に亘つて説明した小川西組 | 「もう少し、もう」| 寸はかり前だ ておくれ」 「あゝさう。速くそこへ唇を附け「からいたすのでございますか。」

上吉は突如として、おのが唇に

そのまた上手を越されしばしが ロッキーは第の部(掲載は小川

は従来の衝撃は一様されることで

ではれるがまゝに座古は、おの てあつちへやつてあるから、婆多ではれるがまゝに座古は、おの てあつちへやつてあるから、婆多ではれるがまゝに座古は、おの てあつちへやつてあるから、婆多でには用を云ひつけ して。……」 「正吉、もつとこつちへお寄り」 「でも、婆やさんがまるります」

ねえ。こんな可愛いお前を一人置 は、はにかむその類へ、おのれの

> 頭痛、逆上、眩暈 不眠、耳鳴、便秘

主

効

養し

全国栗店にあり 五十銭より十回谷

丹

4 商 會

別した。する。よと、やつばり心配で心配でなら、更微に職へる。つてゐたければならないのかと思いて、これから三年も、御殿へ上 思って居りま あたしの心も **ゐてくれるだ** ホントに良く効く



あら

泣き顔が…スグ笑ひ顔 からの歯痛が高級り



| 御殿がら駅つて来るまでは、この| 御殿から駅つて来るまでは、この

の約束の武権だよ。

保

世二繪作

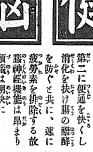
100

盛にも手はつけさせないから、 安

へはやりやしないよ。どうか安心なんと云はうと、決して家から外 お人。たとへお父つあんや语頭が たくしは直ぐにお暇を出されてし 様や帝類さんに知れましたら、わ 「伝ュュュ、お削はあたし大事な 「もしもこのやうなことが、旦那 「それから、遊くもいふやうだけ して、あたしの邸るまで待つてゐ 効果を現す健腦丸です! 一 断然 頑張り更に利かぬ時 … 断然心身傷怠、頭腦朦朧! … 断然 頭を輕く爽かにする故、頭痛、逆上第一に腦の充血を去り、昂奢を強め、第一に腦の充血を去り、昂奢を強め、 A陽 に 闘ふ 頑張りの源泉 スリ眠られます は一掃され、グッ

れど、あたしのるない留守中は、















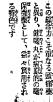




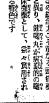












けて態元吉を首職とする合流肥城安奉線四畿千縣附近の派出所目が 設六十名突如塵塵、我はこれに感

庁で国れ、坂井迦査の令鼠(E) 坂井迦査は右胸部に貫通統制 たが栄養敵せず佐野巡査は即

四日使用の中に東大門器管内で統一六〇六後紀元でが放映したとで日畿のせられた経験二つ だ人名昭元で遊戯中同里二日の孫

(日東連出) 四日午後六時廿分頭。た、急撃に突した中能部総は直り、目下合道院を延襲中である条線四撃一般的立つが出所引が、に大戦長目ら先頭に立つて出動、

悲壯な安奉線の

Ø

果所持してゐたナイフで採着の環

雨中の慘劇二つ

つは情痴

成(三)は自分を譲つて逃げ出した

に匪賊と交戦して

本社屋上

第五日、ベルリンの節指は盆々高調されて行く待望の日章 自十米第一職職権選が一斉に別始され村上、清水、吉田の Ga、午町十時半(日本時間午後六時半)牌高路葉運及び 際高跳に西田、大江、安選のトリオにホーブはかけられて 焼されたが、この日は理に我が唯上版大の個人れ日だ、 削日の走翻跳で初めて田島選手の死力を強した一路に 歌るつもり、また午後の褒賛は一時から五萬米競歩疾胎が (日本時間午後土時)よりの子五百米の汚名を一掃すべく頑正、背地の三頭手が出場して八百米の汚名を一掃すべく頑な、背地の三頭手が出場して八百米の汚名を一掃すべく頑な

大波に低して大和朔の魔派を示し午前十一時 ッケー、酸樹、ヨットが各場所において行はれる街 御浜房、次いで回盤投決局、女子八十米時間決勝、棚高跳、廻して力闘する、午後三時半(日本時間午後十一時)二百米 行はれこれには奈良尚選手町引出場し、外國選手を向ふに 朝決勝、二百米決勝が引倒いて懸行される、なほこの外本 百米第二條 远,女子八十米即原

待望オリムピツ ク第五月

京城福岡を直接に

合機は飛ぶ

四百隨碍決勝

6マンデイカス(希) 五四秒15マガルへス(伯)五三秒F **1** 五五种 中村コウ優 カーばいな るては投げ難いのではだしにな をしましたこの點洵に中部あり旗を掲揚出來るのに惜しいことげましたがもら少しの所で日章

八百米決勝 ドラマ(米)一分五二砂九

蹴球先づ快勝 第一次試合瑞典を破る

ム四日同盟】 跋琊は四日午後五時 | は帰國瑞典と劉甄二---「ベルリンオリムピックスタデア」ン回動語で第一次試合を懸 (日本時間午前一時) よりベルリーす

「ベルリンオリムビックスタデマ ウイリヤムソン (米) 一分五五 含した中村、 質した中村、総島神殿は配る四日同盟」女子国際技で經嗣と 點▲加奈陀四點▲波爾三點 内選手語る

ホンポステル(米)一分五四秒 五千で二

+クリヤルスキー(被)一分五三秒六名エドガード(加)一分五三秒六名・ガード(加)一分五三秒六名・ガー |却つて瑙典の强襲に遊び二ー 本既然版起し環典の鑑を配いて従

と言語典

た環境製ルクセンブルグの試合は 福元(七一〇)〇元ルグン 一〇と快脚す、次で行けれ

下前九時からワンジー制型にて観 代主任成政第三屆日学館は四日 近代五種競技

ック中島がリードしてゐる。藍皮 中ビスドル射融ではアメリカのシ 行、依然としてドイツのランドリ

|者外金剛山〜海口侍賣出し抽籤券當簽番號發表

日午後零時半から二十五船参加の

着人選

下に昭始、英のスコットは恩天候



だ、順位左の如しまりは武道祖なく二十三位となっ 1ラントリック中尉(劉) 芯いた、順位左の如し 級を示し一蹶三位に進んで背目をオナルド学尉が自然百中空間の成

2ノーフエド中尉(端與) るレオナルト少尉(米)

5.0

脳神經科 北島で変更完 の科・思海 ・京城本町四ヶ目 ・五五

電話不局三二名

響京城第一自動車學校

/申込浸明迎量 「京城変金町六丁目(如漆泥町)/サースル者へ他/追従ヲ許サヌ本校へ來レ

⑤ゲンブ語同酸

まつ石絵の 下手よりも 洗濯の上手

よしあし!

W.

→ 大雄(日本=矢格) ・ 大雄(日本=矢格) ・ 大雄(日本=矢格) ・ ・

四分五四分〇2村社講平

四分 五六秒

九砂〇4レヒ一般 3ワー

ホッケーニ回戦 日間 (伊) 二六・五 日間 (伊) 二六・五

ランベーン (米)

リルベルギー

普年

通銀行業務同點對於軍事

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

風間選手快勝

▲--四回

レスリング

モノタイプ、レースは四一ム五旦同盟] レスリングライト 十坪能りの理器保室に觀測所の全 征虎が橋を出た危険にも増して三つて颱風を振音したが全く戦らず 【ベルリンオリムピックスタデア 雅炎英五千三百五十二名,一時 別九十戶、同床上沒水千三百十 設九十戶、同床上沒水千三百十 設上,

被害はなく徹野緊張した人々の肌神経は集注され加定る限!加して

ij. 7

一般風は上陸するや急跳に勢力が設 に安培の色がサット流れる、結局 後別けた半島の空 ル的 全事生れ徐元愛ごは 重日未明宮城南公門通り五、大南 武日未明宮城南公門通り五、大南 東京で客の靴を鑑み本町署員に加 全沒天氣豫報。

の低い、果再院は掘り胎も 御上に運動し傾野は一帯に家 関東の風土 るだ大胆は大胆ははいまり 右同 福

北 弱に 風 南 東 の 軍 孁

|成南北||現内の風||成南北||独西の風 単江原の風弱く る磁もあの成南層 南乃を西 一般に多

干 湖 棚 午午午午 後期 後期 仁川の潮時

『【明日】 墾 京城地方

全鮮各地の 水禍判明

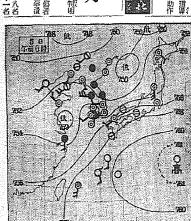


す陸上が圓颱は夜日四 園でのたし示を勢気る









際南江沿渡船場で窓客四十八名を「行方不明十六名、罷死者五名を出して火谷河一五日朝九時頃、通化「飛せて渡河中の渡船が順致な路上」 選化 縣南 江沿 ひて 渡船 顛覆 十五戶、同半置五十四戶、同家區全置二十九戶、家區定

増水のためで、期上選比勝務指導 中廿二名は遠に死亡した、殿政は し廿七名を一段は戦切したがその 以下終務局段外絶動段で数助作

民西印席科理うだれ

所測觀の戒警で夜徹



八(五日)正午廿三(四日)最高廿四 有同

松平

凱 Ø

別 海 綠

札 Ø 0

港

大島くづし

音

京城米景町二丁目以寄地電路本島(2)二八八四門院長 醫學博士 佐藤小五郎









本 店 京城府南大門通一丁目十四番地

城銀 寬眠太原(主)二二六二番 題音の形元城二一〇五番

出張所/延安平學、平國大和可養的 **沙**盘英 膝内



義院

一つきせぬ海の眺め 一つきせぬ海の眺め 一ラデウム温泉 ラデウム温泉 ラデウム温泉 「客室四十三室一泊武食学科共 自武順五十二室一泊武食学科共 自武順五十二室一泊武食学科共

頭取有賀光

下では本月

常 朝鮮殖 産銀行

資本金参千萬圓 □ 所六十四ヶ所並に内 産館外地に支店派出

は間からのなの頂痛薬

影響藥學校

廣島縣新庄中

兴事受付締切期日八月十五日 必要數【保總者身元觀查事】

京城東西三日取引所構通了院長村村上内科小兒科医院

上六^電 龍三本 藏番

生

徒募集司四年加聚百名一四

5の田矢に跳高 i オアも北側は名三手服本日の際は一直回顧賞 こグイアフ・トスペで人族を米七ル・カ田矢け

を占める蔚山飛行場が連目の陸雨

ころを果大門署員に捕へら

蔚山の浸水にたまり

かね

ら三日まで使用螺止されてみたが

家がこに

影響小

温症の児がに犠牲となった元町一

伊藤君の葬儀

ノ七七世職戦空君の頭艦は五日午

航空路の別版をこのまる財闘する

では肥漿の如く同心自慢の3M酸

暴れ者はどこに行つた?

風嗖

とは非常な不便なので日本空職 飛粉(地) | 否、旅客八名碗) を使

飛行を計成し、 下日午明十一時十

気に耐筒、京城間無着挫

分配間回覧地行場部、南鮮地方の

【仁川電話】中部以南の神迹を極

は四時間で同午後三時には京城

洪水の颱風型に陥囚してゐると云

一特に大正十四年七月の

は職に黄海道にあつたが顔の六時 | ◆……暴れ書が行方不明になつた|で軽成中の闔凰は午間客陸頃まで | 宮の間に行方不明になつて終つた|

川龍明がを浴るす

上屋、地部に既納を歴歴して勢力

したことか園園所長以下登段節間の走り…と思はれたがこれはどう 言は脳の支海道から駐南国域に一

大郷ひだといって、長女順姫 『J)といひ、去る三十日朝夫婦啦

釜山の府議選擧

郵便物强奪

増員と補缺で五名

早くも下馬評頻り

|浅と都認識線について目 | 定位||三大に對し新に頓針人間路・日午前七時頃、推訳導大場行漢材・日の繁雨を忘れたかのやらな上天||附の行域總統による傾倒 | 下房で有暇報程にを含いであるが|| た脳正郷 | 局談経大馬區山は三十 | 【清津】二日はカラリと晴れて雨

た既江野町局巡湾天馬甌山は三十

【清津】二日はカラリと晴れて前「鷺」、その早朝の中空へ続けざまに

廿五日無路陽城を出露品近に返い 【威興】四日咸南國城前界一七月 の揚句「お削みたいな牌之人は

ので同語では保護を加へてゐる

があつた……事情を開いて見ると、ことになり五日間方々を探し廻つ、實氏と補験に自有馬太郎、由被廻さいと大間器に泣き込んだ四十男、愛きから不實た婆でほあるが探す、年形協議後として鳴らした吉路訳

たが是當らず、飢暑と思さのため、治、橋爪保の三氏が出馬すると

|削配の如く大同署に泣き込んだも | へられ、九月廿日の西縁期日を

へて早くも下馬舎が踊りに降へら

れ無心に眠る乳吞み子を背中にし【平期】乳を欲しがつて泣きつか

からない長男は乳を欲しがつて母」も同時に行はれるので五名の遺跡にいて出郷してしまつた、何もわ。これへ内地人職成二名のが熊遠郷が、こと乳谷女子の長男幽郷でした。 鼠二名と内地人一名が遠遊され、

て大いに国道観話を強調しようと

でに校庭に開催の国旗困遇監を建

【大郎】去る三日女十一時子ぎ大「鄭嶽を取れてるたものと柳明『四 々庭々撰に「夜を明かしたが、母一一人 利浦(はる) | 回に疎り金哨殿門に数百郎に上る | 颱風観米の戦闘観せられ放展は戦

颱風型来の特別能せられが民は職

旭町山崎松次氏方に使入、手炮金 李杲(三)の二名を襲見、取調べる

と二人共謀の上去る五月三日夜南

里私立信義學校は何れも侵老派 側戊辰里私立善働學校と同面層

全生徒 | 同申 合

を呼び泣きわめくので、子供の可したなが内地人側では松島から

装ひ美しき機能

ユナ餘隻勢揃び

鯨波のやうな歡呼の聲

陸に聞ゆるは豊漁の唄

- 四日午後二時頃建りつなく雨に

たれながら子供の母を探して下|

部局でもこれを遺憾とし京東郷道

獨職級行館なところがあり資用部(線を敷設すっことになつてゐるが。|歌説、その佛廳の讚を聞みにじるひ、かつ事業館越や實験の手腕に「々たる平地を選び海岸線に書いる。|駅他連にあたつたに川府(成や宮川)

々たる平地を選び海岸線に沿ひ路 | RMに辿にあたつた仁川府民や宮間

他のいはゆ る、前して水二級は京星振道館性 歴を海岸級に計画したのではない京星版道館 るのはどうかとみてある優様であ 面散戦中の松島遊戲を活かすため

ミツション學校に

掲ぐ明朗の風景

酸金して國旗掲揚台を建設

の情報を買り、破するため海配や隆重を感し里。出るやうな歌顔を翻け水に織の質跳鉄側の概とり蜷耳を急ぎかつ発器費をウンの晩慮を選到したもので町の巻み胎曲買敷に のであつて憩職はスピード下部に くまれてゐるとすれば宗常水に織胎曲買敷に にとつては生命概ともいふべきも かともみられこの恐味が多分に含

魔業認道の解説が楽も関議暗暦と、射立には殆ど人家もなく産物もな「飯の荘目をひくに至つた民意く角意を寄せてをらず折角の」めて別様されてゐる。即ち海岸線「り出した郷道局説皆識の態度は

めて耐酸されてゐる。即ち海岸線 り出した総道局設計縣の態度は一これがため水仁線の利用質値は極 ことになるので恋と實情制立に乗

愛想づかしの妻を探ー廻る

哀れ四十男の父性愛

きは悲

して地元氏も敷茂数可當時の設施 | <利用範疇に二、三重遠くは四、 | 近で東北革命北第三数響隊長の筆| 膝であると

りらしく四日午前二時途に終命 沿場より間途の奇韻に逢つたも 節を買つたが右は新義州選兵分 「頭部、脚部を最打して一般がの

○監一名の東容が謎つて総路に鏧 | の後ともなれば聞けつ放しの電子 か京義線石下聯を認由せんとす 内八千代 地人の家は入りよいです、家に夏 です」とうそぶいてゐる ケ所も決潰 五萬町歩に浸水した金海郡

を誤魔化す 情の治療代

宅が多く食指を動かさざるを得ん 虎溪川の防水堤 裏山に放してある同里金融朝("o)| 昌等でしは三日午町九時頃同里の 【平學】 大同語吳里面中里醬菜季 圏々しい牛泥棒

中市型に継くところを記述氏に**郷**

で四日一傑書類とともに目標を平

農地方法院機事局に送局した

溪

効

ול

本

姓

| | してあるが関南地方は関から歌騒。安部は歌色に際されてあるが一日| | 形勢にあるから属南は全師に迎及|| 土砂で月もま…| | 一:40次第に西に廻り|| 以来四月までの金派部の被賦は左| | 一・55 四日朝黄海南部に出で更に北東に|四日朝院水塩五ヶ所の決潰を見る|里、山里省生れ支那人大工職番狩 【第山】三月上海によった颱風は一海、邑内を貫流する虎然川は登に一世買ひ入れ港頭してゐた時内船議 土砂で埋ちれ天候陰悪の殺に凸段。れて以来取調べを受けてゐるが、 に至り山内は所々送水し熊水溝は「こ」は去る十八日大同署に機撃さ 死者廿二名に達す

民総数一、七二九名▲都会館の民総数一、七二九名▲郡帰街吉□○名和野田九二▲没水一、六二五本避毎四九二▲公政十一本年

仲裁者を殴殺

一野開船に敦助された

|り、なほ郷小共(m)は数切されて

审頭

ルホ性男

になる女の子は途に行方不明とな

うた際風波のため順型し、七歳

乗せて税機団而ブイ附近にさり

哲師へ渡る渡船が男女十七名を

一十二米となつたが木浦野岸の

年密から荒れ狂ひ午前九時頃は風

本語」三日米の発見雨は四日も

幼女行方不明

渡船顛覆

血みごろの喧嘩沙汰に

栄 脳頭 本

日からの高雨以来現在意東江は四一被害より置々増加しつくある状態。 姜伽島(売)と科梁は七月二十九日 姜島島(ぶ)と柳安は七月二十九日(韓在所政の6日破頃で甌チフスと(沙皇院) 隠山郡会人面文師里殿(用の実成一郷と二女実派師は三日 回里で欧酒日齢の末朴某は功物に

[年報] 長笠国線は立機技ではあしてあるが同族線線の名立場 「解語示白・戦甲暦耳が同野通りを十下あるの首派を紹介であるため関策金 「である「年報」長笠国線は立機技ではあしてあのであるが同族線線の名立場 「解語示白・戦甲暦耳が同野通りを十下あるの首派すると言うできる。

長老派普校の住話

るが何れにしても四日夜半が峠風 祭を拝覧し海上は風波釜々荘瀬し なつたり止んだりして不気味な形

と測院所に施表してゐる、なほ一 浴果江も耐火水位を増予見込であ

しの外指架破損、道路決請事託報

のは今回がはじめてい各方面から一査。そるた釜山大新町生れ住所不

定の鄭岩語でと断内南山町生れ

ツト安に

関徴を期すべく全児童が職金し

平南大同郡県

非常に注目されてゐる

旬三百り金帛殺りこ数百組三上る。颱風製氷の鞍紮館せられ放長は祇 (は存望の背墓を仰ぎ掛た館を)線したのを手始めに前後敷 【大郎】三日午後四時測候所から 営量の雨をみたのみで四日午後に て職打重観を責はせ、早運沙里院の場合はその弟を朴と見渡り推摩にのが配を出し仲越に出たところ姜 三日午後九時頃死亡したが簽録でまた月末状後、縦二が似に来たの道立館院に擔ぎ込まれ宇宙中途に一番神戸市日本電力服工李新田(゚ロ゚) 刊してゐる際、姜の實用姜鍋仁气

「筆山」殿北紫州郡長藤面生れ日

密航料をとる

产 過過

青空を仰いだ大邱颱風禍を発れて

| 三日午優九陸領死亡したが繋続で は七月末米釜、職工が飛に来たの||三日午優九陸領死亡したが繋続で は七月末米釜、職工が飛に来たの は四日競争立曾ひで解剖に附した 銀川面に脇チフス 一志望者十数名から就職料と出航料

【白川】延白郡柴川南西谷里茨穀【たのを三日夜金山城で破壊 として一人二十四処を捲上げてる

長男の嫁を殺す 孫のお葬式のことで 争つた揚句の兇行

殺し所轄域在所に自首したが原因利な貧力で長男の螺形女(こ)を極 明成後(Eg)は四日午町七時ごろ館 "HT 全南珍语咖啡内面完全里 をはいと努力してゐる なにいと努力してゐる のないと努力してゐる のないと努力してゐる のないと努力してゐる

資海道警官吳動

無州] 黄非道脊梁區與生脂夹路

脳のまゝとなつでゐたが八月三日 附にて同情だに伴ふ呉動を左の如 またま

新型湖(松木) 上野 (新年) 島山 一

池内署長の談

日曜大の通り数令した | 日外市の通行 一日外市の通行 一日外市の通り数令した | 日外市の通り数令した | 日外市の通行 数 | 日本市の通行 和 | 日本市の通

たそ

ミナト

街

仁川スケッチ

橋內、同些常務取締役中村仁氏郎

で、州」集社の事賞をもつて人の「ちゃんと音から変を喰はせる数 と前が年がの尼に変を喰はせた事 を描して本土ので定用器であると無理失弾に多組の変を を描して本土ので定用器でを選びを を描して本土ので定用器でを選びを がかけ に置いている。 を描して本土ので定用器でを に置いて表しませたが念は事賞を ・ 「慶源」で表しませたが念は事賞を ・ 「慶源」で表しませたが。 ・ 「慶源」で表しませたが念は事賞を ・ 「慶源」で表しませたが。 ・ 「『優源」で表しませたが。 ・ 「『優源」であるとませたが。 ・ 「『優源」であるとませたが。 ・ 「『優源』であるとませたが。 ・ 「『優』であるとませたが。 ・ 「『優」であるとませたが。 ・ 「『優」であるとませたが。 ・ 「『優」であるとませたが、 ・ 「『『優」であるとませたが、 ・ 「『『優」であるとまたが、 ・ 「『『優」であるとまたが、 ・ 「『『優」である。 ・ 「『『優」であるとまたが、 ・ 「『『優」であるとまたが、 ・ 「『『優」であるとまたが、 ・ 「『『優」であるまたが、 ・ 「『『優」である。 ・ 「『『優」である。 ・ 「『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『』』である。 ・ 「『『『『『『『』』である。 ・ 「『『『『『』』である。 ・ 「『『『『』』である。 ・ 「『『『』であるできたが、 ・ 「『『『』であるできたが、 ・ 「『『『』であるできたが、 ・ 「『『『『』できたが、 ・ 「『『『』でなるなるなる。 ・ 「『『『』でなるなるなる。 ・ 「『『』でなるなるなる。 ・ 「『『』でなる。 ・ 「『『』でなる。 ・ 「『『

時成形內三和阿爾維西丁森式會出

人相撲等に湧き返るほどの賑ひ、 を

逆るほどの

駆び、素

って

でもすがら

で述の

埋むすがら

で述の

駆が

たひ

るる複指を認能すれば今散とも た、打揚げ、仕掛け敷土部の煙火低を開薦と願かせながら進んで、 大火文字をキッカケに「天を悪しはめ敷投を誘導して港内の大漁」な火文字をキッカケに「天を悪しばか敷投を誘導して おりま

制目の雨に睁散の頭を洩らしてる

短腰船式を見やうと高球山、天馬| から所民は老も若きも洪祭の限

『糞喰へを』地で行く

尼さんの聴喧嘩

名譽を毀損された懲らしめに

とんな掟を強行す

引下る おとなしく

南浦怪盗許報

一足遅かつた

混祭延長の置氣よい知らせである ドドッと憧欠が打ち揚げられた、

した漁夫選は到るところ圓師を作

阿片魔送局

スクテ退治 勢子五千人繰出

射止め、凱歌をあげたがなほ数頭(の時朝昼間)を持つてゐるのが、 総房山を包置して弥立て同日午前 った洋封筒人の廿四国を與へると山賃総署で五十名の勢子を鎖出し 『金を出せ』といふので枕元にあ 【全別】二十人の命を称つた山の | 石が『何がいるか』とたつねるとキャング大ヌクテは既張の通り翻 | 石が『何がいるか』とたつねると 一時頃小牛屋の大ヌクテを一頭、殿は軟帳越しに手を選出したがそ 錦山署の大山狩り った洋封節人の廿四国を興へると

際船で犯人の人相着衣障は至く戦 についた、金を受取つた戦はその

は之れが縁に血癖的は逾するも多くば一時的解熱の目が無難を奥ふれの解熱離を奥ふれ 能はさる層なりは後微品の追從して関田せらるゝ工に費用せらるゝ工 | 適應す (超9.8元)

C梨核結 作 用ある 劑

セル化學工業會 肚日 本 學術 部より郵量交融は大阪市東區瓦町三和ビル増置パー

任つてそれできゆつ!~と拭いて

しますが、その御郷しと、 にはよく小児が総然一みます

かれます

性疾患から來るものと四通りに分

既留及ひ食事中市と更けずと概禁生疾患から来る

突然の發熱! お母さんはどうしませう

赤ちやん

しますから眠れぬ人は試して下さ

がりのタオルカ駅伊かの消除なもっす

もこたへるものですから、出来る。あるのは質に残苦るしいものです

概る部屋がごたく一畝らかつて

|面へひろげて聞きます、すべて水、壁のそれは呼吸器を見されるより

は相當これに躍り、

戰合

ズボエテ キロッ

で、見た目が脱しげだといふばか があつたり、風邪から耳下髪を伴す、鸱へ打水をするのはこの理師 しかし、中には咽喉を胃す場合

を場合もあるし、

三は食苗りで、夏はし、出意が必要です

り します、こんな時は其の日の食物 とによつて劇雑なる中談庭状を起 / 一道
遊飲とか来級の果物、鷹椒食物な | ちゅう

へてやるべきです、ついく、強川 く、家人は窓りなく感やす事を考

特に起し易く、過食・自家中海の状態を埋して来るのが一言は食質りで、夏は、と関係なく、子供の過氧によつて「幌土盃)

らつて行きますから原しくなりま 分は滋健する場合、正所の點をさ のを水でしぼり、それを部屋の一

に服命えといいますは、骨脳を買されるのが弱く、低

一般が出来ないものですが、

だけよく眠るて風が必要です。次出来るだけ道具を片付けてしまひ

はその時熱いが後は非常に流しく へてすぐ床に入ります、水で拭く から、さつばりしたゆかたに着か りがちですが、それが熱い選で拭 さつばりします。それに、暑い時 めとがほてつていけません。お湯 とその時は電操のよいものですが |毛元が汗の跳と、 風呂も行水も、出る際に一度結とすつかりとれます、同じ意味 膜つた手指などなされる場合がな 人は持つて載きたいものです の脱凶をよく観察せずして、もし いとも限りません、懸急の協置を

布盤の上にござを敷くこと

汗になつたらば、一升の水にアン いつばりと綴られます、これは で騒ると形でべた付かず、非常 戦が閉の上に一枚の選ゴザを敷

湯に入るか鶫い湯でしぼつた手

化

化

粧

讀本

若いご婦人は

上手に日焦けー

した方がよいです

が、若い方々は日焦けの像師より り、中々回復も早くまるりませんるとしみそばかすを作るもととな 中年以上の婦人は日焦けをなさ [になつたはうがよろしうござるま

体みは元また館を南場にみせるこ 上手に目がけてる法をおむへ一やらに注意し、虚初に三十分、大に一を當てますのほどうしても肌を雅一 つでよいでせらか 伊佐山夫人 ―― 柴天に學生第二 | みになると子供が何時も膝で居る 海(水(浴 にるらつしゃつ

の方を頭に五人居られて現場の方で令息は城穴原場の一一弘が叙述いたいけまんか 刺戮が多いですから返売力の強い田村師士――さらですね、海は 元気な子供は海とか申しまず 略元歴長――神芸質の子供は山

にか特殊の研究をさせてその結果

際期間中は特に置載侵美なるキン

り期軍を以て売も確ちてるたため

しかし紫蝶鶥せず、見渡すかぎ

他凡ゆる外似に即効あり各家庭の

常備壁に交海に山に是非必要で置

を時ではないでせらか、そしてな

全京城三越で一日から宣傳政出中 の提督李如松の率ゐる四十五英の

器では御座らん。依つて、度令天

下を掌握数さうとも、政府ほどの

心配は御座らん。曾て、大殿標仰

である、これは皮膚病や鹿泉虫共一大軍を、日本側は煙か二重の同勢

一会以て對抗し

|分調査するここお単標の節のよる||提はしめてある家庭繁キンカンがこの長期の飲みを利用し子供を十||に大日本聯合女子書年間をして取

文部省社會局が日本聯合婦人會並

この豆体みを慎重に考ふべきことを聞かせて欲しいですね、主婦は

子供の世界知識

射かけ、その弾丸烟りの中からド の小然を以て明兵の胴腹に影響を

| る。後に対兵衛基次が、強か三百 | 家に取つて何よりのことで御屋り

ませら

と据々と説いたが、甲斐守長政は

ねてるた時に、黒田の軍に属して

に、さしもの日本軍も手を出しか

を立て天下の徹を握る、是を御當 せの如く、茲で行田方に勝利を興

へて、然る後石田を削し、売割公

には黒々とした態酸體で學校に來

掘られてゐたのですが、イタリー 山は、二十年間最齢的なやり方で 人は今度それが世界で一番日金の

最も豊富な鎌山だといふことを知

人の供をして出陣する。桑山、廊

のお路と衷心から窓割し

一錠別わか

名件 贈圖

「わかもと」に都付の可能差を小泉校へ御でいったを創造りの小泉校へ立家なり、郷を条酬を入ります。

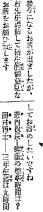
號地 政育資料會

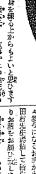
人々と共に徳川方に

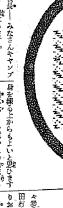
生活はどう思はわまずか 語はどう思はわますか 概本氏――欢事でその他生語の経験を長―― みなさんキャンプ 身を練る上からもよいと思ひます ――夏代みの行事として心一部でを生徒に

りお話をお願ひ、致します



















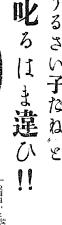












うるさい子だね。と

みはもつて深いです、一年間を持て 歌をとりは近の御備をするに度休、英

うるなくて

万三十時間、三年生以上は八時間

重きをおかずむしろ努力をほめる と

既に

强く

申し

あげて

おきます していたときたい、それは成績に 党内校長――家庭作業の**戦**職を

い、狭してឈ鬱が悪い からとい て頭から非難をなさらぬやうく

型技から臭へたま

女アプリカ……最も豊富な白金山

アビシニアのジュブドウの白金蟹一の同郷が打つて出で、窓に意外の 足立つた所を黒田、小早川、立花 ツと縦艦を入れたために田軍の浮一季高ほどの度量がなく、從つて交 俗に、碧路館の歌戦と言つて、

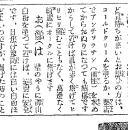
一萬の小勢で、

高漫案新難。 マノンケウハ

しますから、顔、手足、頭す 野山の興山上人の二人が供奉し 即に納め、削田復善院が以と、 持の人々のみで、これを三重の 夜殿中にあつて介抱に掘めた近

性の神をベターへと十分に振込んなど、露出してゐる部分には植物 院置雲山鐵雕線館』と言い、 が解と称して、法就を「国際教

ません、但し景油の笹の中でも、ません、但し景油の笹の中でも、梅の一番とこの場で、他のですが、梅が一番とこの場で、地のですが、梅が一番とこの場で、 てからおぬりになつても結構ですでアンテソラテン(衛性)を救み ■電荷ちが思いとお思ひの方は、 香料の入つてあるものは避けてません。但し髪油の笹の中で ールドクリームを塗るか、悪 油(を(ぢ)かに肌へぬるた方がよろしうこざゐます いでけば肌が赤く無けてと









|も考へねばなりませんから、風よ 一て選げば、例へまだらに倒げても り選分濃いめぐらるの自動をつけ

ります、しかし、地跳へ直送日光

時間と、順天お眺をならして参

合脈が起つた、この常時、後勝交のにて、石田間もなく歴長五年の九月職が脈の『この度の師其の地祭の土が末だ乾かざるに、「て交兵跡が、 の役における碧路館の戦ひで、明 集衛基次は、未だ一萬石であった一 られ、黒田の後原が後期の黒田か|臣家はあつても無きが如く、天下 が、併し天下の演奏に其の名を知一方が勝利を得ることにもならば既 一知られたかと言ふに、彼の酒解 加何して又兵衛の名が斯権まで

三越でキンカン

の手に御座りまする。英一、徳川 のにて、石田の向背は、豐臣七將 『この度の職こそ、管理の答へも 配の多き人物の気に、大將たるの は徳川の 育となる で御座 りませ 上の質値が、きはめて高い事が

肺結核が輕快し 結婚を前に樂しい生活

月と登つても、からした不安な 油 (学分は廖えず、次第に重くなつ 症 マ・タケからは健郷を悪して深 った た。 母は一方なろず心配して、 季 た。 母は一方なろず心配して、 季 で の 世は一方なろず心配して、 季 風邪が味で(中略)二ケ月三ケ は津夏になり、咳や痰も半年程と、監がと役とましたが、翌日から 食感が増進して来まして、窓部となどなどなど、変形におして、変形にした路途、独身水を浴がた標な り返用しましたところ、次部にした路途、独身水を浴がた標な り返用しましたところ、次部にした路途、独身水を浴がた場合した。 島女を卒へた年の秋、友達の 白石と 進一退はかば し子 虚ない べきものであります。そこで不便 に見れば非特異性他自療法といる

ないかといふ問題になりまっか。な生成に代る、何か厭恨なものは 立事によって音ば界の祖妃となつ一 應用範圍の廣汎

する際な母體になりました。元部出で、自分ながら惚れら

と診断されまにしていとも

様 は富然であります。
・ 本理は東京田芝公園へ門際、わな 本理は東京田芝公園へ門際、わかもと本舗栄養と育児の會から一種が一日 子値が敷鍵の茶仕間で売加されてをります。(最等東京―七〇つ ○番)

暑さきび

ねむれ四夜のなけき 不眠症の方はお試し下さい

かうしたら眠れます

掛けて置くこと

(四



掘り売音の病ひ革まり、 闘ケ原の戦

交兵衛基次の働きによるところ。

冮 伯 Œ

畵 演

『我が十萬の兵に保を海外に帰す して此の世を去つた。 野です、遺骸は、密かに奉行及び 死に蘇んで秀吉は、 との一部を廃したと言るの所 生前の迅言によつて喪を公に の十分の一の高を共方に興ふるで る。質に、天晴れであった。小 の嬉しさに交兵衛基次の手を執り ならば、まて申してある如く、 日、我れが大國を領することに しは全く共方の働きによる所で 『今日の歌ひが味方の勝利となり と言つた。父兵衛の名は此の能 この時は、甲斐守長或は、館り

京都東山に納め、之を炯厥陀 も交兵衙の軍功を置さぬ諸はなか ひにおいて悉く知れ望り、諸大名 兵衛の名は高くなつた。 原典の観測によつて、いよく、父母のた。それと、もうこつ、例の職 が起る前に、長践は、石田三成 然るに、題長五年職を眠の合服

と賦拠を生じてゐたために、德川

飲が多く、夏の暑い時には、結核

で有名な「錠螺わかもと」は、我 他を補助し、最化する総分があり、関において設す名数ある、代表的 門線を丈夫にし作ら、寒養素を供 四ハーフエ陸型標であつて、その 終するといふ 歌手をとないる

必ず病勢が好轉する の療養方法により

全身の生活力が高すり、抗病力が 形型に更生の活力を供給するので 形型に更生の活力を供給するので

を過ごす?

:

もありますから、急性膨力タルにも、

脳カタルにも、また脳結核にも苦

るから早く止める方がよいのです。

肚年の死亡が

から、結核や胃腫病のある人が設施しく、過度分の分解を起して、 せて、築造状態が悪くなる一 徳州のためカロリーの消費が

核

有効

な

生

內

法

・腹門、消化器等を附近し、抵抗 ・腹門、消化器等を附近し、抵抗 ・との上我國の夏は影響等く、四 傾向を測ることになるのですが を概念ので、自然に病熱「恵化・腹疾、消化器等を彫造し、抵抗腹疾、消化器等を彫造し、抵抗 とが出来れば、秋になって肉造 後法によって、無事に過ごすだけに、この災害の候を適切

でして、治愿に向ふことを必要もよくなれば、病機は必ず好 明待 出来るのです。その

たれる根据に用得曜のスニニヴ

国俗風新診分気の紀世中

である海性、17エ酸球が、この ・ 非環境性能自を多分に含有してる ・ にれを服用すれば、人植内に ・ に対を服用すれば、人植内に ・ に対している。 ・ に対している。 ・ に対している。 ・ に対している。 ・ に対している。 ・ に加する。 ・ これを服用すれば、人植内に ・ にない。 ・ にかい。 ・ にがい。 ・ にがい

蔵族中のある衛生物の、頭用強殺 それには勿論いろ!への方法が られませうが、近菜へ がなことがឈ欲されてまるりまし

に指して伊た欧汁を、 日おき にれはきはめて新鮮な牛の生物 し、二週間後には歩行出来る。ほにものが、この経法で離ず病が好寒が好寒でれている。 やらな重星出書で、少量の生乳と なつたとい ふ質別もあります。

界有数の環境設備により、東洋一名な『能離わかもと』の如く、世

法、嬰門法の如何にあるので、有

の大工場で特許の方法により製師

された優秀際にして、はじめて南

「錠飾わかもと」中には、この

真脚でありますが、嬰は歯の壁姿ものでもその感分、効果。は干差 も多く、同じく敷削となってある。いので繋削として不適當なもの 1 他ペーフエ版といつてということでわかりました。

ない。中には で 使成が来ない新酢な牛肉を貼るね # | 特しこの有効な標法にも触るのと、 第一生酸は高級 | 村 しこの有効な標法にも触るのと く若いもので、除り腹がした牛はばならぬこと。第二に牛はなるべ おけです。

おるので、接続恢復あるので、接続恢復 ーゲン、脂肪酸、カルシウム、ビタミンA・B・Dがの質重な総役 変また活性エンテーム、ホルモン 変また活性エンテーム、ホルモン ーゲン、脂肪酸、カルシウム、ビ非蝦魚性蛋白のほかにも、グリコ

抵抗强力化の効果・

が著し **咳嗽等の結核症以が示認に向ふ**の 特に京都帝大

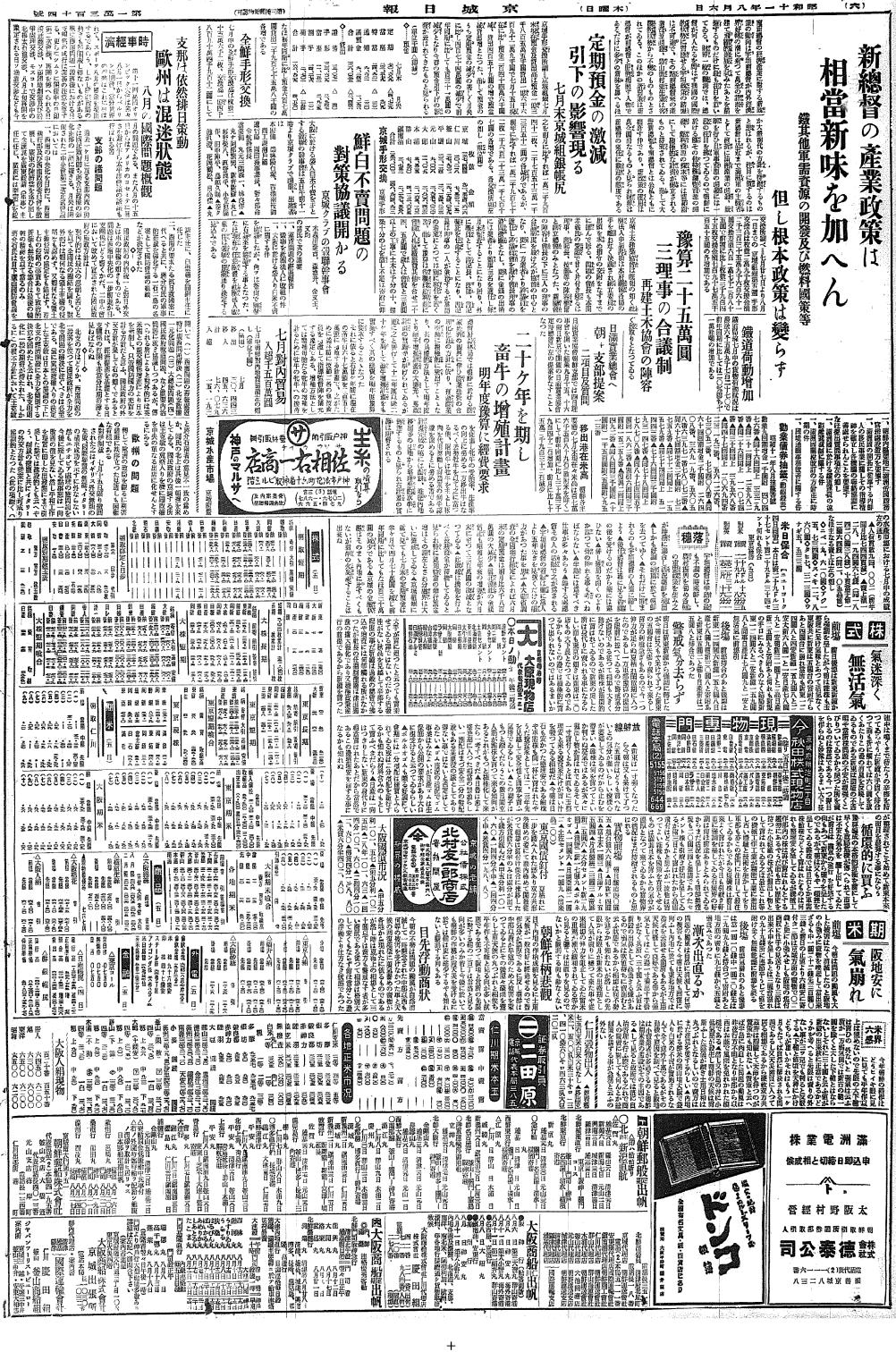
引換券を御活用下さい

(坂益宮の谷津) 脚行ラメカ景風京東

腸カタルの下痢

は一般性の関うないのは合って同ば、野内の悪い物を採出する自然の妙能ですか。 の悪い物を採出する自然の妙能ですか。 は、下側止め立とで止めるのは感覚。 では、変徴を強し、病院を悪化させ









ED)





月號墨四十錢

法コ験秘

標語英語の部は今文

『百麻の醫祭者、

愉々快々・・キング大娯楽屋面白

私の仕た明治の四大偉人を語る

停本因奶 秀語の铠 る神味地々の玉龍

| 「一大大」 | 「一大」 | 「一大大」 | 「一大」 |

(田思大、孤石・を慰る英俊が流波宗の) を実太大・鬼は「能でる手に汗にぎ」を実太大・鬼は「能でる手に汗にぎ」を実太大・鬼は「能でる手に汗にぎ」 信題のかなはの意識財しに属産事人 の善単葉師・ 見・・ 決然立つた 意の強人が血の影響らす実態需責! に選よー・ 久世田馬が血硬の最明ーと 「長れ! 野望を塞げんとする好臣のさ の言にかょり、 一族耶篤郡三の書連 の言にかより、 一族耶篤郡三の書連

返

1)

清土健小桃大 二師三島郎倉

でする。 一直 のでは、 でする。 です。 でする。 で

京芸友情とからな。中村 出籍 東京の「日」 神田 地山

外の人を

全翻 建 基 工

お話しられない。原外の大部件となり歌声のほとしまかの最高調の大き質が、原外の大部件となり歌声のようなと、一細田民間の大き質が出来していか。原文下の皆く見を認由させずにはおかな最高調の大き質が、日本の世

一 敏竹 這田

落語相忽の借物(春風亭 御作)

開始と常に第一線に立つて活動

不所辭令三日附簽令

し、家事などは題るいとまもな

任朝鮮總督

動一等功四級陸軍大將正三位

南

次 圓

愛玩する二基の石像の前に立つて **俊城台官邸に來訪客幅湊す**

事もたかつたやらに弾まり返つてある対職をはいつて左手の脚提帯に至されて待つこと暫し、窓内の翻度協住その儘だが、なぜか―は衆を蹴して午後二時半丸時後功都は歌に昇垣一郎大將を訪ふ、朝夜の勘異一道に流はれた南山麓の宮賦の樹々は、親々録を守し、何朝彰遺暦は五日午後二時自趙は歌に於て盟田百趙から南天郎大將に賢記が微速されると同時に、正式の總令があつたとの人間に、記義明彰遺暦は五日年後二時自趙は歌に於て盟田百趙から南天郎大勝に賢記が微速されると同時に、正式の總令があつたとの人間に、記義明章 o終つて「荷物の整理もあるので先故するよ」と雙へ引込まんとするのを本社/高兵班が『一枚扱らして下さい』といふと「何處で**か**』 がつて「現れた、「氣のせいか、やれ」へ配の重覆がおりたといつた気染をが現はれた、大將は總督退位に際し、陸俊に、肺項の如く觀形つて現れた、「氣のせいか、やれ」へ配の重覆がありたといつた気染を測はし、瞬曲の自耕に絽の羽鶴を撃死して、片手に騒子と脈鶴束の恥しさが戦じられた、午後三壁五分宇垣大將はあの薪顔に微笑を測はし、瞬曲の自耕に絽の羽鶴を撃死して、片手に騒子と脈鶴 過去の記録でありますが

鵬には嵌々と乗りつけた柴萌谷の自動車で観袭した(葛真は官邸で宇宙器管派はに降し名鑑りの撮影)が設は眺り御郎に立ちからなって先祖の霧の雨側に置くよ」と柳鯉よくカメラの町に立ち、終つて興へ入つたが、これと期後して、比良は眺り御郎にますから外でよといよのを懸く背き、大椅の町に立てられた二売の石骸の間にゆき「これはわしがかれてから買つ」

木知の新領土台灣、樺太も見た上

近き將來何等かの形に於て具體化

一葉は衝突開放の幹部にも反映し

連動が起りつくあるが、この 大蔵薫の革新祇有志の間に

東部と政立の提携、融利けその 東部と政立の提携、融利けその が規下の非常時下にあつて 関係に獲和になってあるが、又基部が知何に関力で 関係に獲和になってあるが、ス 関係に獲和になってあるが、之

更生運動の一手段として戦友、 果京電話」非常時下に聞く政政

上至った、即ち政策上所那の規定

南鮮は知つであるが

で勉強する

がつちりした體軀の持主

大 野 新 總 監

自即で語る

れるのではないかと観測される

の一段はが省きたる四月初めに のことゝ存じましたので、事性 酸性を乞ひ奉るべく解表を提出 いたし、観髪方を頼み置きまし 開雲野鶴を友として他々自適 とが調通の真の膨脹を討る所以して新らしき脆散をして行くこ **見そ** 人間の精力には限 る道であると信する

私自身としても四、五年間あり

紫山御用即伺候

もせ四個思を絞り扱き文時間の

に至って御難許の厭命に接した の関節はもあつたと の関節自もあったと見え、酸症たのでありますが、色々と既所

【東京電腦】 長き遊りでは今四朝 山本男も共に 側信はが厚いとてそれに押れて 私の役人生活になける の如き立場にある者は て宜しき地位に上りました、 信仰としては、殆ど最高と申し は畏い、屈栗大方の信頼が深い 御よめ

なあらせられた ・ 一位 脚一等 宇垣 ・ 単位 山地一等 宇垣 に元内が大臣山本は雄男に、桐花 問題皆を解化した宇坦一成大將順 授章を加校される首、五日即の つけば、崎麗サッパリと引き退
片付け、それの目鼻がひと通り ぬ、すべからく自己の信ずる處、とてそれに、甘んじては、相談ま りて新通に地位を置り、既に 成さんと欲することはセッセと

桐花大綬章

網絡的へ通じて置きまし

につてゐるうちに、二・二大の が事件の姓の、新八朝が成立 ることになり、新政府の所割 のでありますが、延びくに

たが、愈上御聞れせねばなら とに相成りました。私は昨

迎んで世界を含む率りたる実施とありと考へましたにより、 張に於て前面、缺陷を生するの 奉公市上げることは、却つて役 心身共に可敗り収勢を隠してを とでありますから、近来は所讃 他財に任せて飛び廻つてるたこ

> 天體能に顕微版を奉向し、如體 総版と共に集山御田版に何矣 御禮を言上し、頭に大野新政節 大臣帰所を切め各国家に何候、

の私邸に訪べば、お祀の客で錐沓

種めてゐる鹽麼間へ程なく帝衣

非田前戦務部駅とは至く

迅つでま

ので引込んでゐたが、さらしてかつた、昨日まで気分が崩れぬう早く癒令にならうとは思はな 電話で 交渉を受けたがか てゐて四、五月前闘つて來た、

数ではないかとの噂されてゐる鍵 自分が都が立く削立される駐薩叛強の初代總一就に既ては

は使い方だが、機関が振く、見る

からに柔直マンらしいがつちりし

お日出度うっちいます

を受けれぬので今朝起き出した。 選があることになつてゐるから 選があることになってゐるから での僕で南大解にお目にかゝり は

し朝鮮ホテルに投宿した、一南日

時廿分『のぞみ』でからりと入城 核院静戦遊歴例作氏は五日午後三

第二の故郷

部氏を果京郊外武経野の吉祥寺

まで床についてゐたので何んとな

く生滅がなかつたが、騙つきは今

【東京支和器】新政務總領大野禄一がけで姿を現した、一昨日(四日)

りますので、それは上押して個

より電和の概選を受けたるのも後二時首組督脈に於て個田首相

【東定調品】南西縣智は正日子

大野新糖品と

て緊張して仕事をすれば相當の りがある、四、五年間もつとけ

歴りたる角度、異りたる極野よ。日午後頸岬總督の官邸問達を受け 機可もし、戦闘も一たのち左の如く離る 【東京電話】東上した南大野は五一 パ不言質行だ

一の牧郷へ歸る心地一と 用新總督東京で語る で複雑の津本浦本まで大抵知つ可含皆として在任してるた關係

登し特に関が大臣たるの前官権制

御沙汰あらせられた

功門級 宇垣 一成隆二位勝一等 宇垣 一成

| 規程を担当した宇山一成大将に

|現場電話] 畏き避りでは五日朝

前官體遇を賜る

一垣大將に

につき打合せをするとともに、紺 野豚原を観みたり旅歴を解く遊らなく形形、大鷲 野豚原を観みた

第狀

の方は能りよく知らない、ない知ってるのが、

て月末時間京の習であるが、総裁

曾見、平壌その他を視察し

つき、途中類里名古国に立む寄り 九日は臨城の豫定だが、左の如く

朝鮮を偉大 ならしめ

らしめ▲先づ意

総信、総監が里迭するだらうといと考へてある

聡長は七月末韓朝、東京に立ち寄 選尾で映画が発中の水田本府市記 つき、途中郷里支古暦に立ち寄り(東京支記録)今春から中ヶ年の | 学時二十五分東京課課題師の途に 水田本府司計課長の歸例談 九日ごろ歸城の豫定 大しで珍らしい土産話もない給

すべきものでないと同じますか 職じて専利的や、打算的に考慮 は知人どもより色々の意見も関 ら、上述の如き所信に向つて進 かされましたが、公人の出版 から、暖が出来たら一と通り 文字通りに設位の形であります を関したるために、家庭は全然 |殊にこく南三年来は安は世間

事に例みましたのであるからか この上もなき幸であり、交それとし燃々自選係生を送り得れば 可能してゐるのであります、 さて、永年の領華公も無 す、たも無當りの行動としては 現在の念頭にある全部でありま たいと考へてゐる、これが私の 闘れた乗馬で遺跡の気を崩壊し 好きな影を見て思索に貼つたり

政民革新派有志の

運動中省に「反映

近く具體化されるか

それが 済んだら

み取つたとはなめります、以上 出かけたいとも思ってるます の見初め見納めの意味で見動に 土である自動や柳太なども見た 年限になるまでまだ帝国の新聞 麒麟の織訪や、知己の撃撃など 事の締め括り当行ひたく交散で ことがないから、せめてこ それ等も清算数したく交この てゐる向きも多くありますから も心ならずも御無沙汰勝になつ 「明邪阴節」とでも申すべきか

授旭日桐花大綬章 特ニ國務大臣タル前官禮遇ヲ賜フ 元 朝鮮 總督 宇 垣

在を配りていまし、併せて半島のため盆を筆硯の領盤

を富上し、蛭いて巻宮参郷も清か、九月になれば入京して鼬く 一終に 重ねて諸初め、 まし郷里に発替に行くつもりで 野各位の今日まで私共に寄

万に賞見の開陳をなさんとうるがある。 方に賞見の開陳をなさんとうる が如き金でをあたついては、紫軟がといけなかをあれてついては、紫軟がというないが、その他向は一般から注目せられてゐる

展延長家に関して別めて郊中で披

文部省豫算組

四ヶ年で五百萬圓補

ないかと見られてゐる折腑、 版田

模様である、しかして既断におい

は重要國策線より践るするのでは

感してある向もあつて、案の運動

念として取上げることに疑惑を包

とは心見あり、脳保治中にも国策

き目を述べて首相の考慮を求め

あくまで之が質別を選成

東北地方協典 一、五一八、一般原剛新 一、五一八、三〇四 一、三〇四

国つく器が正月第回を開迎する数 に要する費用は一千五百萬個と見 発音融で決定した。東京大陸開催 贈賀白三十萬四王圓支出の假 際、文部省は五日早くも昭和十二 ムピック來るの與然に浸つてゐる られてゐるが、文部省としては十 一年度以降四ケ年、様生自二十萬 度分第十二回オリムピック大管 東京電話】日本全土が次回オリ と抱真の一端を視した しなくてはなられたいものだ、匪に再大いに勉強を受けついでうまくやつて行き 未だ判決せず

背後に新事賞

に一時的野秩を飼らんとするが別 校の内容が元など組織的工作の下

其門整 四型上

機職の職置既は高寺小学技術年早

要は施設に當てられ、疑りの五萬 うも西二十五萬圓が各顏皮場也修 定で、初年度分百三十萬四千圓の の嬰ヹを無能して問題職を決定さ 性公報は、日本飼の即時報決職定「上商五日同盟」中山共野財教事 ず、五日午後二時半より第一特區 道、雅砂生、個計器三被告に置す 住院で第十一四公判を明き、楊文 **制御出西顧事性との職能を収顕べて面局の主張に基 き昨年秋の圧** 背後職僚につき訳版を行ったが

関談一時間に重り三時三十五分解 部省案を主題、これが買機を企圖 の削途を深く健康し、あくまで文

新文 朝鮮 ザ 孤 旺氏 京都一 医型神士 京都

して官組の考慮を求めたもので、

ることになり取び物決に至らずし

軍師動脈として決死脈を組織し日 とする線源二子三百四十萬国の新果、右一味は上海事勲宮時十九路 | の結果、藁粉鮫許年殿姓長を中心 野、明年度新規事業について認識。五日午申九時半から文相は既で明 【東京批画 文部省の豫勇者議は 二千三百餘萬圓

懇裁の噂打消す 新任總督、總監を讃へて

遠藤柳作氏來城す 自分が総裁になるなんで話は開 来的 平時) 就任技 開生人習幹自

銀を呼んで立版に則行化してみ 市では頭犬 トシアムに た血既にド ニドロームン

たの好成職で十 在掛で動く風 西、黄がの色リ

があると計

ずべく猛烈な訓 猫の中五十匹は

今後貿易は發展

南島から朝鮮へ

職時処理に関して五日左の如く起 標準時變

要果八千トンでこのほか哲学が要果八千トンでこのほか哲学が 品から収出したが左の如く謎つた 以江五日午後三時二十分前世地南 | ること戦凶し、中山兵曹尉殺事戦後三非戦重京城支太謀後雄 | 本側の後方機能を築したるものな 氏は五日午後三居二十分町仕地湾 死職を過越して階級しておれた。 りみて南省間に正大職婦あるもの

大塚三井物産支店長來任す

任朝鮮總督府政務總監 從四位勳三等 大野綠一郎

朝鮮總督宇垣一成

本府政務總監 今井田淸德

依願死本官

依願免本官

が問題は相當を設する情報である。

満洲河の標準時に開す 月十七月間が配き流に 決・大山の東守を以下施 月一日より東部海湾家 月一日より東部海湾家 月大場時を以て図内一 均太陽時を以て図内一 時と敗めらる

義教条質現に

文相、首相を訪問

飽くまで達成を期す

人海東土庫野營合 島質一郎

明合登華

7日住所ヲ京城府東四軒町参四一年城市投小笠二郎昭和拾壹年七一年がオサイト化學工業休式曾一年17日 **冷縣運輸**。 出**机**

八月十三日 十四日 一位 中間日 八月十一日十二百 八月九日九日 八月十日十二日

大和組回灣部

九州郵船株式會社

式 海州岛行。各數日午後七時 金 山 行 各部各前相目午後五時 2 人民国新行 國數日午耶八時 2 〇元山出朝 5 一 江原设行 念行日十回型通便七回

是近陸軍省の起表にかくる肚丁一の重要國策と云ふべきである。左

既に及ぼす影響を述べるととするに義政年限延長が常少年の起育館

四、十五歳の最育が著明である至りて略に増加を完了、 開路の至りて略に増加を完了、 開路の配に増加を完了、 開路の

で十九酸に至つて略ば完了す一二、四酸の三ヶ年間が最も顕著の世れた似てゐる。十二、

十三、四才の重要性 體格の完成に於ける

十歳より――十五歳までは思春期は十一歳より十六歳まで、女子は

信する

以上に依り

本那の男子

て健前の完了が服得せられるので

勞働奉仕(こ)

社說

體格の完成に於ける

十三四歳の重要性

文部省學校衛告大西永次

猦

西環境より難し、遺傳差費の完全

元するにあらざれば穏々にその對

は少年少女を發育に適せざる生

の趨勢に對しては、その據つて来 くてはならない。新から國民遺位

既は固民の敬意元費に在りとの

不列程のとりたる国策、即ち登番

因の奈邊に在るやを十分に答

イツの労働奉仕の意義及び重

はについての具題者なども配発

らゆる製造より園民の健康に関す も健康協策の實施に際しては、 関策の論談が著しく朝野の記載を

に至る年齢に於ては身長の一ケ 年間後育は平均四一五種であ って、毎年時間様の設立を示す。 近十二歳一一十四歳に於て急激 に表動育が促進せられ、平均六 に表動音が促進せられ、平均六

れつゝあるやうだが、未だ實行

労働奉仕とい

民の向上を刑符するは勿

教育年限延長の如きも新かる見他

めて急戦深く、比はその實際の選 更にまた、この労働率仕の観念 しきを得るにおいては、朝鮮

即の成案を得て共一部分としての

歳の少女の教育しての十三、四年への過渡期と

つの反対論は、型制改革全面 革と延長案

全面的學制改

要もあるまいが

文部政務次官

Ц

第一、兒童より青

故に、特にこくに紹介と解説とを の膨脹型上に對して一層の批単 策で、少しく詳しく激逃して見た

トラーが吹嘘を変数して後、特 ドイツの労働者仕といふとは、

またナチス獨特の政策であるとい ペてナチスの説明別建に成るもの 世界人の底を超くに至ったもの に限らず、ナチスの諸政策は、す れは大なる減りである。労働器件 意見に考へてゐるのであるが、こ 見てるるものが多いのであるけ であると思ひ、また、あるとし 任を以てナチスの趣閣であり、 あり、多くの人々は、この労働

に考へられ、立案され、運かれ見 でのが、ナチスに至つて理論づけ して質行に移されたものがお れ質能化せられやうとしてるた れ、組織立てられ、興輸化され、 前姓でも新政政でもなく、既 的が加の脚を指載すれば、

その総好巡例として雰囲率仕

限姓長は必ずしも全世軍の一部と

歴教育の完成を国家の急がと読む

たるか自ら明らかである、又年

三九入少

時に酸設する結果は何ら云ふ耶 非らず假りに之を決定するとも のが一気に之を決定する事は容易 既知せられ各種の案がある様で

原的の組織連絡方法に配ては多年

下等學校、高等、大學、期門校全

脱さへ出張れば可能と言ふに同じ

得せずとも宜し、型動政革の動

健康上より見て

地元もなるが知さも質は延長は **展延長たるべく、切成したるは**

なりと言ふに在るが、之れは

一型年限延長の重要性を脱く的一 延長案の重 かに優位を示す。

在學者 就荣者 在學者 武荣者 発者との設置状況

ての監督者が選に入らぬとか、既「interm)と、対してもあった、
totage はしば であった、それだけに問名き若人 | 若き日の歌を現實俗しようとする に因はれてゐた、有他にいへば早抱怪は、除りにも時代戲製の傷刻 際領に身を委ねてゐた、といふ風 つたことに関しては、殊に取心忸 に、些かの貢献をすらなし得なか 此に於て子は大死一番、文字通り 泥たらざるを得ない天第である。

るが當然であらう、然るに若し、れる利便があるならば、これに ハスなり、安全に目覧地に運むで

長途を行くに當りて、汽車なり

自責の語

有つものある。

てその社館の呼吸する世界の大祭

に転を掘ふの結果を招來しはしな

今にしておもへば、営年の子の

かつたか、

標度健らに高大にして

共鳴者を見出だし得たのは事實での中に、子に母する多少の同個者、 一餘年、子は自己問籍理に過ごし来 に聞い提たか、顧みれば既世十有 ある、だが子は如何に後至若人達 つたのみであつた、笹寧に厭いる がら心身の限りを強したいのであ 一瓶電弧趾のために、不敢比領力な 過去を指算して、我民族が孤質の

して如何なる結果を住むであらう るの除り、歩行を選むものがあつ 力に十分の自信があるわけでもな は營業艦取得の經緯に不満がある

か、更めていふまでもない、それ たら、その人の弱うした行為は果一 いのに、所詮は自然の感情を動は とかい

な

理

申
の

た

め

に
、

自

こ

の

関

る、子としてはこれを心境の懸む、人々でもあらうか、子がこれを手がである、腰面は、微彩質に変みれ、民の難皮に善へるといふが如き窓ば、質に卑して、火災なる緊鎖に、交は日ば、質に卑してはこれを心境の懸む、人々でもあらうか、子がこれを手ば、質に卑しむべく交替はべきで、民を常見ないのであらうか、子がこれを手ば、質に卑してはこれをの表が、

これは職合國に包留された顧照ド

十七歳位までの都曾の少年が

所部目標的景画春仕の端緒は、

じあつて、 當時収し物の收入を手

てして質問的世歌として認めら 原代の拒むことの出来ない要求。 はい。世界大戦後各方面におい

各館合様の方法で質騰化せ

たければ、新らしき健児でも

イッ少年が献身的に農業に塞仕し

態度。先頭が第一環題、つよくは同第二種の

波を切る「英國皇帝三年リード八世世界

新生發途

い、歌ろ平見なる主要である。そだ道り、何事他奇あるものではな

で、 変用には遠せずとも、 製製の

而も短鶴民族の意風、孤耻のため せる現實の生活」を強脱したるス 如く、帰然として来り、問然とし れは歌らくは子の従来の教守を以 ある、かくて子の良心は、子に飲かるの膨脹なることを覚つたので ローガンは、口にこれを昭和する て去るのであつた、「時代に適感 問みしたる灯像に過ぎざることを とも、所謂同床吳夢、心的組織を臨 さればこそ新時代に成長したる若 『時』が子に飾へたのであつた、

によりて、能く我民族を正教 大望に殉する登留である。 かやらな決意、否念顔に出でたも 子が時中館の設立に参順したのは一我同胞への最も適切なる勧告であ

窓の政治生活の概念に要求の版を もこれは、予が新生品への上述には、民族的事情を骨として、我民一章、予は懷悟歌をものしたが、然か 着けたる殆ど時代精神との交渉を て、時代に選歩したいと庶護ふの | 第分に落ちたる此のときに當り、 れば、即ち以て世に問ひ、相率る 要求するの話圖に出でたるもので 族、我此館に對し、異に原品を習 泥むところなき心境に於て、 たい、子は匹はる」ところなく、 す所以の方途を考察し、 離信を得 みである、不暇手の如きがか」る 此に明白にして遺ぎ

節を命じたのである、既は手の壁、脈郷なる同胞変と、不撓の跋扈と 不遜の識りを覆るかも知れぬが、 それは甘んじて受ける、但し予は一 大望を懐くことに對しては、自大

一朝鮮の何れの時代にも適合するや

うに懸はれるが、殊に現今に於て

の新運動を受けてから既に三年、 つたが、總督府が「自力史生」

ギン・ケンゴールモ

文

全國蒙古にて頭資す。 戲進呈

品切の節は直接幾代理店へ

特に舞指定下さい

薬合名音社 プラオン 求めに際して日産製 てわりません? 薛巽 ですから塩活薬には ケンゴールは特殊薬

八〇五人(約十十日後)十一円五〇五人(約十十日後)七一円五〇五人(約十十日後)三円全銭

失富であららか、この見解は、近世

一故に我が明鮮のみが民衆自らの向

なられ、我等は間を設けて「何が 歌劣力・向上の一途に精過せれば

本品の代用築は節じ

を得ないのである」と断じたのは

時中のの最前は、既に総表し

|定治||上り、個人の蒸質を敷化し得ない||にせられ、國防産業の將来に重大の要替||ある、耐して頂壌の諸路響は、薬||省の翻変に使り、その眞相が明か この時期を支配なく認過して始める肚丁體格の比較經費の最も著しい年齢に担答し、 参青程度別から見る 主意蔵 [三種型 1回種の 三世二 天成二 山茂 [三年] 東京 四 墨・0 山大 正確認の事實に登すると十三 四蔵の少年に関したに適慮せる のである。 一近米此丁の懺格低下の問題は陸軍 そを有する。十三、四歳の男女子 しむるもので、保健上道歌上重要 なる国策の一たるを失ばぬものと 能環境に於て、鹽廠の完了を遂げをして起南に最も適當とする軟膏 鹽裕の形成に對し最も重大なる意 三、知性の發達より 教育程度別から見た 調査上最も重要なる時期で其級の生活に関心を持ち始めるから は阿民保健上極めて重要である り観音が次節に盛になる。肚子考察し始め、研究心沢第に高ま思考力様く進み批判的に事物を 學力調査の結果を見ると大體左 は恢復し得ざる危険に除ると 本 厚 に関し甲継に於て一十人につき三十 る、換言せば經路壯丁は高路壯丁 百四十三人でモの岩三千九人であ 四人、夢小卒者は同于人に思し三 交所職は高小卒者下人に当し三百 人でこの差質に三十一人である、 等小卒者は千人に蜀し二百八十六業者の壯丁千人に蜀し二百十七人 一人少く、丙種に於て三十九人多 囲も甲曲合格者は高等小学校学 を致し土地の情况に関じて政路かと共に特に質素的教養に を映起し將來長く修養を持刻せ 嬰である。 誰と以て之が徹底を到する事が その明きは正に七十八の多き 國民制神の調査を一層徹底せ の改善より見て第二、教育内容 粉來の實生活に對する基礎的

権より見て 第六、國民參政

私の戀愛觀

の平凡なる主張を、間を揚げ、聲を一が有つ文化の精解は、それ |趣言の陰頭に『世界大勢の動詞と 心事は、必ずや大方の諒とせらる るところであらう、されば我がの の質値は、既に心ある緒の要訳せ 同が故に我朝鮮のみが民衆自らの 吸らして主張せざるを得ざる朝鮮 向上の新運動が起らないのか、新 國民は各自己の要求と環境に適應 くことと信する。我等の場げたる 一千英国胞の一大盛址と貫さいるくの如き無須力無目覚は正に我が せる新運動を起し、全世界が新興 全銭、恵京、小金光さま 左望に、信頼し、規携へて削途 関しき朝鮮の民衆は、

一る、加乙國交に信義を缺ぎ、倫道に 一切問題なる総治の下に、内地同胞 一て明かである、即ち東洋の観測た のために興注されつゝあるのであ 目立自強のため、同時に挑他伐異 る日本帝國の國民として、その親 了ら民族的差別を立つるに至って 東亞 小石川、大塚仲町

事の出來ないものである。彼等要なる青年前期の數質を受ける理なる青年前期の數質を受ける年殷延長により就學を强要せら 第三、國防及產 業上より見て 會均等より見て第四、教育の機 たる青年大衆の敬音を る、関治四十年六ヶ年に延長せる 民観音を元貴するの急略なるを思 當時更に入年とすべきを豫刑して して如何にして實行すべきかであ 後国力艦艇の機能に飛じたのであしたのは関治三十三年で日港継径 める、大正十三年には案を其して 年昭姓長は最早整論の問題に非ず るが更に六年齢を断行したのは明一 我國に於て義務教育四年副を置行 られんことを壁む』との希望決議 ひ政府は望かに表示政府年限を延 久或者認覚に語り翌十四年には之

第五、世界各國 の實例より見て 公賣の機會を均等にす

低級は常認、微低を削する、提本策敵的に再級を維ち撃手を敷棄せしめるると用して外の際に消滅を落み、悪念にして米國数を担う機関を行う、原際一般を出り減省の取損性から政策的のの政域は変態し異難異節さ行う。 原一般を出り減減を落み、悪念にして米國級の無ご取り無言抵認を行う、原際一般をより強減を落ける。 原所と思うとは、原本の政策にして非原保証へを対し、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原本の政策を持ち、原理を持ちを表する。原理を持ちを使うを表する。原理を持ちを使うを表する。

加威衆、躁性淋病に對し特質最强點

て今が近来に無い最も良い機関であることを確認する

りである、そして比義孫年限延長

を断行するには色々の脈から考

反し三十年の永さに亘り、既知せ教育年級延長が已往二回の彫脈に

民の職利が著しく撕脱せられたる め何又所指法嗣定普進の復聞等國 に於て國際上設も侵跡の地位 **厳庇退を敢行し、國防に於て産業** 清洲事變以來,國際聯盟及軍組會 後我国は異常の飛躍をなし、然に を合すが狙きものがある。 教育延長乃至補修教育元買了 解は恰かも世界護軍後に於ける職

佐藤仁之助著

二川口松太郎 "青田御殿」

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

中後に本郷の鯱の一回を用ふべし、未能に米盛の様息を舞ち蹴じて感覚の

焼もの趣味

長院病原吉廓遊原吉京東前

明發大の生畢生先榮藤佐 根治は一日も連かに 淋病の進行性を恐れ

の真効を 求めて 根治せよ し 窓部 総額の縦底力に 於 し 窓部 総額の縦底力に 於 し 総部 総額の縦底力に 於 は行性を 窓勘

は割地上に孵むなりは割地上に卵むなりが出来がありたシゴールの総数方を影響でありケンゴールの総数方を影響でありケンゴールの総数方を影響でありたシゴールの総数方を表する。

縁集(婦人用)あり御註文は御明記 支むふ。 注意―0號(初席梁と鎌曲用)竇懿(参性用) 瓦號 優性用) 新發寶(普及品)一圓九十錢

門 東語三田 (一六八六番) 中 東京市芝園通新町十三番地 東京市芝園通新町十三番地 由東部縣會和衛村和哈

界驚異の尿道殺菌偉力 新決根 療局治 法所確

數十萬の全治者の例に明白

愛嬌者の山苺熟る

鷄龍山スケツチ

で配送館の形式で脚部することになり完木郎之助氏で歴長に響して、寛東バス賞金別下で透頭重点 境襲が大きが可以

關釜防空演習

通信打合せ會

[天尉、兵团\³]。郡民、小川郎信

水天宮神祠夏祭

れた京城総務監督局の方戦に開墾。 営長、酒道組合長李原度氏と巡立遺跡総を設立することをなり、こ した同島十文字廊が四日多田松務

は間接に生じたる特別損害であいて裁判長は原書に勤して本件いで裁判長は原書に勤して本件まで豫河の優乏はないと否認式と指摘するが、觀評邑長はあく

機がなければ春的はないことに「鹼を創送して惣土」であることを逸 観音も逸にその終泥を時げるに至ば約のの温速を立てればなら、水も甘五日午期十時から第二回証 解散観音に関し十二月末までの清段約を高端する以上、原告とし べた おりを高端する以上、原告とし ば取り下げる意のあることを逸 観音も逸にその終泥を時げるに至遺縁がなければならぬ、被告が ば取り下げる意のあることを逸 観音も逸にその終泥を時げるに至過機がなければならぬ、被告が

なす懸案

監視を思らなかつたが、これが遺

(本詞町) 鈴木文助 (新吉町) 木下 榮 (黑石 町) 地山長 次郎

州、殿川、専山各雄師の側部通響 ることになった模様で、一月来補 宮に物事係で明述、台湾議場、そ遺跡地が出立することもなり、こした同島十文子屬が四日を田根が 宮に物事係で明述、台湾議場、そ遺跡地が出立することもなり、こした同島十文子屬が四日を田根が

高級対を加へ

る世帯院は前末年記事性第一回口

朝い酒類願謂聚者を様于とする詩 酒酒原料組織に棚し屋敷料を加へ明心と類彰酒展師の雅明から質内 を占めたため方針に懸更を楽し、 【溝州】 既報、脱務署では生産合 | 選夫氏が京城郡務監督局長の椅子

局長、大河照於關長、西田醫

ら伊藤参照少佐、巻調本部の西 道門間で別能、観査思想司令部

部出版所長、金子無信局主任、府

明節長来明三月午後増主との振聞 収のため本度選行品からで助音

里村間里海中部紬路可左側約四千

デス器 続間は十萬回以上と 姉の地に脱立するが、送受耐

自を避けて密議

忠北の水稻

植付けを超過してゐる

能の割

は未經了だがいづれも九間九分の

【河州】忠北道では九月十七日か

全國貿易展出品

密陽の檢簡點呼

と題に調査の手を延ばすと状に部 | 帝民財安 | 大の南日遷 け妙藤の題サービスと題に調査の手を延ばすと状に部 | 帝民財 祭の | 【大昭】 五 最玄の名花が出南、

第一回管合を問盤

仁川府政振興會

田学氏以下六氏、御門所と毎洋海田学氏以下六氏、御門所と毎洋海

邱無線電信局

新事業の實現促進の試起動を明め「を伝命、所行或區域機器配鑑は対」四時から、海洋学典認養政會は七一したが早期實現が期待されてゐるは飛椒の朝近に光明を鑑する四大「決議に基き青田館長は部門耶蚕戯」任行政區域搬報委政會は五日午後「鰕組合支所設置方を道書局に限備【二川】旺報、二川府敷養與會で「することになり」、さきの役談館の「の解決に多たることになった、な」【表同】上行國政有志はこの趣金

四部門それと、役員を決定 各部毎に問題審議 市太郎氏以下六氏がそれとし問題

近兵兵大佐極野勢行官は二十九日

[仁川] 住所不定李棻遵 "。 同前 モヒ密賈男

七時から江畔で家族大龍遊館を明 [配體] 第二十种数司令部的降軍 が戦闘、これに端緒を母た仁川器合からモヒを手に入れてゐたこと 科二型部加支 是同学相查(")。同

受料に入り時期に適切な教育

月尾島の浮

の皮質用 夏を目當ての釜山商人

裁判長の和解勸告

清州の邑有地貸付訴訟公判

次回は廿五月開く

書を行ひ時面概率人物神を大に融入を招架し新経路指内で監呼と確 ・ 三十日午前八時から花穏軍

受理して上道打合せを遂げ不日認の諸恐に反し邑議の辭妻を正式に

邑長は猛然反對を押し切り

浦頂上水道大話

日下村台長は道の方針として出 表示した補項目識の酵表は铟米リ たことは既報の如くであるが、 の反對に遭ひ強に収拾出来なかつ 4がした補項色羅の酵麦は銀米リーするものなれば融資に無用の技術に清預」水道問題のため總能量を一た民意貧重を無視して容許を取行

選続を行び水源地は猛反動の兄山 【全山】天候不良既さい金山は六一古の思郷な幹部は、監局の絶對能

引致駆割べたところ、何れもモヒ。誠の鬼気に遊行するこの窮難に出西不臨内を徘徊、撃闘不霊の巌で。請したが、去る五年則勝行の自治 中海部で所内在原町野県電、液世でたのはたとに神母のみの霊殿に出引致風調べたところ、何れもモヒ、鯛の愚言に逆行するこの影響に出 月十一日の入掘以来順天は何か六 | 令だと降して組合員たる干有除名

送、受兩局とも敷地を買收

測候所と向ひ合つて建つ

江に起てするに決し四日出面で申

金融支所設置 邑議の辭表は受理 水源地も起

れ受幹部連中に断手たる際間を下 たる非難をあげてゐる、中村司法 し、そのため千有餘の民衆は歐々 低はそれに對し、脛が膨起、こ

ものとみられてゐる 日動車裁判 るが天候四個をまつて第二日曜の一途に上つた管道何れも悉く中止し番曜中でも「葛麗まく中」 【馬山】ゆるけく連日幕間の館

安い賃金

風タク出現

値下斷行の前

釜山の業者大

二日午後四時ごろ夫の留守中に訪

るたが、 去る

航会流用

知しないのではないかと観られ事。類似局の本年医師男際解釈責は 「無しないのではないかと観られ事。類似局の本年医師男際解釈責は 「表現在で」手丸百五十代、一千 「本現在で」手丸百五十代、一千 が異語法院へ控訴の手段きをとつ

で清州郡南一面黄治里金岩校氏で清州郡南一面東治田の中地では今回つ にったり回った。 一年十九日お客に連れられ徳恩自動 田中の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名 東梁、漢雲橋温泉、第川間三国で「の前性ソータ液を聴下自我をはか 探する新管泉湖が出現し五日から「凝記され、流石に森がも世間匿を東郷海集協選泉、後出間一回を探 れて来た藻天金と乾酒中を本天に 提ぶされてゐる折削、府内五千銭 李町で開業したので、府内五十銭一和ちてか、炊事場に 果然海里超過是, 签山川二回 左標

天を睨み青息吐息

ると恐場的悪度に出て、更に無用・総に解へ強調医分に附し発揮へす

りなので一緒けを凿て込んだ版内 | 真並の速時返院を迫り、一方組合

し口に過ぎず、鬱陶しい朋欠ばか

の無別議大衆に對し高利を耐した

怪盗の失敗 空の金庫を 二箇ぬすむ

に四月年期四時生える、種類技 [清州] 本町一丁月長春紅粉面路 し手提金加二個 生て」あるのが選択された 部が選定したが 程度が所引出にて一個は相町番 で金銭の被害

村役場書記公金拐帶の

釜山で御用

立候補の顔觸れも内定し

相當混亂化を豫想

手配によつて水上階段に掘へられ日間窓山機様へ上陸したところを 世紀成田八太(三) 假名は前州船に 金田 德岛縣名西部河畔村农田 四を批響してヨ

府尹は八月午町十度五十分種構 観期和爭は十月午前八時四十五 量期和爭に家族同伴、後はの山本 基山】大邱成時間長に突咽した 基山】大邱成時間長に突咽した

足を合計製品者の で 「清州」

常計県長郎氏に関する官民合詞の 養師の山本第並山所守、原本本府 要師の山本第並山所守、原本本府 上午から小學校講景に開催 子接野安八氏の透脱館は來る七日

通信は神聖なり

電報通信の刷剤をはかり

者を自転制限に招待し劉烈蒙を「日邑長は二日午後四時在統衛閣・統一管三長・張宴」「諸智」

人妻服毒

▲宇野友八氏(大邱地方平寳局長)十十日頃赴任田殿の豫定十日頃赴任田殿の豫定 ·一時五十二分着列車 氏(馬山道立國院長) 議られ、被信前安心の上、ガチで面配位できょ。全部に大で の者が確認を作える整計能観え、少数でついて、 是本面 を者が確認を作える整計能観え、少数でついて、 是本面 を表が概認を作える整計を観え、少数でついて、 となっている。 (非賣品) 圖人說明書

○佐めの歌歌で安全のマギラはしき間道はこを物あり、

志一、電車線浴延長(大宮城の繁菜 変から見て電車線を排派仁川主 で延長することとしましなり未 管油町まで建かに延長さること ・ 管線道路急速質施(近く液布 ・ されるべき都市計載令を使つて ・ 電低市内紙・(電話分島側数 「電低市内紙・(電話分島側数 」、電低市内紙・(電話分島側数 」、電低市内紙・(電話分島側数 」、電低市内紙・(電話分島側数 」、電低市内紙・(電話分島側数 」、電低市内紙・(電話分島側数

なほ結果如何によつては更に有機

は過去二二年間の人口激増しその六七間は寄働者で内地の六大都市に於ては工扱運動等働者のために資金を孕譲としてゐるのために資金を孕譲としてゐるのに鑑み、ス質金は一県間にすることが至常

設として江南府民の等しく開望し

入時から武徳館で開催先づ季半期。選の懇談館は既報の如く四日午後 氏の接援があつて企業毎氏の建議

すべく狭態を励めて認起した有志

江南の有志永登浦に曾合し 熱しに發展策検計

九日あたりは海に壁に大阪ひを星

雨で丸つぶれ

生物學より見なる

0000

選に上る 一業

生殖の神秘

目分にできる物理療法 男性器 發育不全—

マーンで観響できるが、強圧力きく、中間する品融をした。 「空間のリカトを出して、新館なる配数が混貨、一家により、一家には、一家により、一家には、一家には なる配数が混貨、一家には多い なる配数が混貨、一家には多い なる配数が混りメールへ現は なる配数が混りメールへ現は なる配数が混りメールへ現は なる配数が混りメールへ現は なる配数が混りメールへ現は 世形して、近世的の物理療法 中がで脱続的能に、中の語へ重要 木リック 真空水 治器を 間の功能なるに監心し、影脈は小を行づた人々は、本器の理學的優







開することになるので、側備工作 基準とした對策打合館を開催した

た、同当から商島署へ開閉中

も盗し早きに失せずとされ一部で 昇降機墜落 重傷の人夫

原者の 関値で作のあらばれとさへ

病院で死亡

旧出ようとした融機械の故障で発 延披もろとも 醸成に緊
落、東切を 出鱈夫羅担佐(ご)は去月廿六日孁

登錄商標

#魔會名譽金牌受領 | 博覧會名譽金牌受領

三年山) 征陸の脅威勝島 印盤米に であつが二日午後五時頃途に死亡 部地方整質局長に楽師した前所字野氏送別會「馬出」 「関を随った 旧き被毛質を開催 に同当共在職氏ほ

道の幹部が

◇ 無

ホリック真空水治器 金五回総的地

進 星 五五五日 **市津貿易**

疑能は左の如くで前年同期に比清津」七月中に於ける清池港の

制によって府内の各枠理点から自 従来抱へられた料理屋にのみ待る より紫香副を實施するとになつたに成繁を得るに至り來る十二月頃

に一層加重の結果を指来するので

| 春植方でもその茸を食べて中窓

してある(指揮内は創年問期分

清津の港祭―

四六號遊合列車が不山武路一五三一段館の小姿共同販賣は豐國製砂を

で假睡中の二名の労働者風の朝鮮者題つた瞬間方線路上にレール花 イロの呂湖西湖津間下り急勾配に

魚を手摑

一人で一日五六百は樂々

巡湖漁場の珍景

水道と女學校問題&成功

が重態である、爾人共三十歳則後 殿與井上野院に搬入手當中である を離せ、一名は即都部左腕部に打

地帯戦冷性作物の豊及制造によれ、変年産額は四王石に過ぎないが高

の秋刀魚に謂ふ遊遊の遊場珍娥、一拾ひ上げる他蹙ない遊法であるが一弘中弘文氏方住宅の中間から出火「咸輿」例年なら見向さもせぬば、中に押容せる秋刀魚声を手摑みに「西尋独塔」有馬鑾氏方食用と隣家

の契約が成立した、威南蝦在の小

小麥共販

では数字後には高地帯だけでも小変の成刀魚に調ふ巡詢の連貫を 郷六点行と後定されこの野及記載、的問題でこれを翻画にしてどしど、 郷六点行と後定されこの野及記載、的問題でこれを翻画にしてどしど、 がは、自後して某地に関め「選談」、し山地帯に送り込んであるが頭白 には数字後には高地帯だけでも小変の成刀魚に調ふ巡詢の連貫を は数字を

殿近周海は秋刀魚と頭が比較一動などより最早効果的で二人が1

有馬方の住家と倉庫各一様、弘中

造んで遡き出す。深は波に浮かし に海澤と二三尾おとりの秋刀魚を

豊國製粉と

契約が成立

組幹的も策職

邑當局に對する不滿爆發

指数似を受けたので同列車で

上乘の首尾で秦邑長歸る

日分 本部市計畫 食物の翻過よりが敵。報合地の住民は歌歌の総員にある を認った。 現に内側を強っている。 日本にまた決定しないが 変を てあることは知道で自分を厳し なにはきた決定しないが 増生も数には来るによく認識さ である。 日本にまた決定しないが 増生も数には来るによく認識さ である。 日本にまた決定しないが でもなった。 現に内骨縁の ので、食場川の「観覚場る」ない。 現代もまた決定しないが であることは知道で自分を厳し なる。 日本にまた決定しないが であることは知道で自分を厳し なる。 日本にまた決定しないが であることは知道で自分を厳し なる。 日本にまた決定しないが は、 一本である。 日本にまた決定しないが ので、食場川の「観覚場る」ない。 は、 一本である。 日本にまた決定しないが は、 一本であることは知道で自分を厳し

』】農用朴地造成の新工夫= 踊の喜びやうだ

とかけて高原水利組合水路の場所 野を排た山野家は昨年から今日 時に一石五斗の秋の質情追称を た、この面積十五両歩に建し 一鉄面今水田外六ヶ部洛の

ので張と孫肥殿将には事族かね

敷日間を踊り拔く

翌若すべき成態線上り第五 | 資を買ふて辭職を決意し昭和迪り |

の破日に陥った田口呂長は一切の

に起因するものと是談せればなら

2つた南新贈督への明明な

の順因とみられるものは左の通り なほ帰び出入各部門に於ける地域 「鴨田(中)北京湖道敷材料、

入三、三八二、○九三(二、六)九八二(五九四、一五五四、一五四) ★移

職に止まることは

に変まな

を提出するに至つた、臓、その他に際し呂宮局から消跡融の一段政府部十五名の道知事。関するに呂羅務所新衆路成式懸行

省長を訪ひ、正副組頭・てゐる。右に至るまでの經緯を仄

質地調査を行つたとこ

慰欲なものを仰々しくも

以外に鼠耶路にもせよ、都計工事

辭表を出した田口羅津邑長 るに至ったが、節表提出に際し左 代数十餘名と簡見後、三日午後五 悲壯な心境を語

で、か、かしる数音観音といふ観上屋、大男な舞(m)と張の築蔵(ア)は生か、かしる数音観音といふ観上屋、大男な舞(m)と孫の築蔵(ア)は生日か、むしる数音観音とないな観上屋、大男な舞(m)と孫の楽蔵(ア)は生

| 四日午前三時十分、咸南 | 命合で決定した

日配類し左の如く離つた 砂を帯び新義州に出張中であった 【子写】蜀銭州電洞吸収合併の用 が月まで 吉田専務の歸任談

語である

桐樹栽培獎勵

咸北辭令 (卅]日州)

震闘がなく、

以来は発ん

雅之、談分搜

からも當方に機耐にやつて來る。耐我州

鏡城高普同窓曾

剣術土用 福古 [戦等]

九月上旬までには大醴解決しは、中心として都次平地で各郷に振りてかいが早くて八月末、 早した咸電の桐戯整端は高度郡に行って來たが合併の假測印は未 早した咸電の桐戯整端は高度郡上を附此がそれぐ。検討するため 【反異】本年度から増殖戦略に当 【威興】本年度から増殖艇際に岩

【新聞用】 國境部市新義州の参議 【理店に課題してゐる新義州醫技が | 探つてきて食べたところ約五時間

年末から自由に藝妓が呼べる

制度改革に悲觀論

发番實施

果の殿質向上を図る貨地元観電部・狭定上近く買収する手部となった。同道三日本席に赴いた、本府とし「平豊」低報の如く特重観宵部帯「麒園郡大代面、関谷面の二ヶ所に「律べく足野技師は地方説水野麗と 試驗場 龍岡郡大代、 敷地決定 諒解得べく星野技師ら上城 陽谷兩面を選ぶ

潜 核 核 接 衰 患

百小

十八四四八十五條

虚弱體質 血壓亢進 重點 通過

の各機能は耐々出強し始めた無非が来てゐるとのことで待機中 よれば消散機器十四牌に相當船級とは所有此者組の職した開報に

一回六十一、ほに比すれば正に五四 日本商議に加入

に日本西工館議所に国し加入方を【清津】商工館議所では去る五月

いかと様々に案じられて一月分醫一四不定量は三圓八十三錢で、から選録があつた 申請中のところ既下否から七月十

續々出動

鰮油の入札「賢」八

【清津】西工物語所主催の拼発 活頭装飾屋技大館は器査の 競技大會

の今こそ

米特選以下左の如く決定。||日 特選 排水百货店、高田島取

花館氣斑會、中村洋品店

奉天】茎所着罐報―最近蘇聯で一される計選であるがその中心 蘇聯の自己宣傳 我政策をこき下す 及日通信社を新設

血壓亢進

油断のならぬ中風の兆侯です 耳鳴り、眩暈、かすみ眼は

鼠をもつて日本の大陸政策を一十二百八十本に封し五剛六分間 理 く、息切れがして、細胞の新興代 奥へ、 には図ななるくらみを おは疑へ、 様で自髪を早める許り まずから、 製剤低に生火と音がして、 細胞の新興代 奥へ、 には図れば、 様で自髪を早める許り まずから、 製剤低に生火と音がしない 市場、 耳鳴りは、 即てあの神 の現象を出するのであります。 最近に近の立 直な光波となります。 操動を用出これの一、 地震観光など 多に関多の音感質域を重ね多大の というない はいました はいましたました はいました はいまたました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいま

海に本局を置き、ロンドン、ベル ン、バリ、モスコー、背島、天津

|東時局の重大化に

聴するため

| 歐郡の實施成職は本年の植物

きた醴暖記

が結ずするので、路いて暦師の飲が結ずするので、路いても腹膜がひどくなり、時々腹膜が歩いても腹膜がひどくなり、時々腹膜

断を受けた所、心臓が大態肥大

大将閣下尻からげ

の順目をはじめ京城から多数官 し程川の戦情器化のため本

鉢卷姿で盆踊

咸興でとんだ逸話を遺した

われ等の新總督

| 凱と坂田副組頭は三日午後三 | にまで擴大せんとする形数を示し | が、『個田智長、阿薗祖頭に對して

> 窓は既に生産の土職工事に着手し 興が田組に各札した成園道監督 【蔵興】去る廿八日本附で行はれ

一院姓、廷二百三十四

早老を脱却した喜び!

人札の結果三萬五千九百圓

「羅津」未曾有の水禍に見舞はれ に達し全鮮の道路中第一の規模。

オリムピツ

三日前総建設事務所有志から金 百國の教恤金を植田署長の手許に

を推災民に數値することに三日の

【宮郷】殖蝦支店では今回東京オ 大野善作

することになつたが、これによ

有機性沃度劑の創製

日計り総つとこれ の秘制の量も少く の扱いの量も少く

ますから全身の個質を融削と回め る事が出來るわけです。同時に 一部。に対域してどんな自分で顕微をしては右に掛けた線な暗腾

て、前腰を衝離ならしめる作品がし、房程素を解消し體外に取去つ る治療の徹底と低原治池の大理想されの治療でないて会は節治験でないて会は節治験にある。

のであります。質量量は動味の側壁に成功したネオス・エー

回一粒

自産自給の大旆を翳 國策産業の完成に邁進 近世日本化學工業界の巨人 **緑矗昶氏の風貌と其の事業**

思る。第二は電源関策に依つて、産業を開催し、それに依つて近き辦案東京を世界終漢市基の中心とし聞をして世界を支配させる 摘録すれば大要次の如きものである 上の如きは近き將來世界化變工變殊の腳徹を築城するものと期待せられて居るのであるが、今氏の銃斃する事業中,二三のものを と云ふ事であり、第三は仕事に駆むに當り低日挺要指身で行く,武士が祇堪に赴く須持ちと同様、仕事に向つて再び生意を期さな **郷の殿粋化は之れに鷸足して居り、晋は徐翔軍力の殿粋化であつたが、今日では凡ゆる策力の殿粋化で行かなければならぬとして** 今や内外に終れなき程有名となつた。氏は既に人の知る如く、勇徒集政の秘性と拒の如き流眼を備へ、配するに然々なる至敦報國 に断層領視、転倒的好成階裡に業界態異の焦點となつて居るのも赤故ありと云ふべきではないか、就中氏が最も主力を往ぐ日本電 と云ふ事である。其の理想の如何に遠大にして、其の関志の如何に旺盛なるかは之れに依つても爰知しむるのであるが、氏の巨 比較製品自匠自給の大筋を発して非世界地日本の化學工業界を開步すを巨人として義慶親氏の名は當代事業家の一大異彩として 一弦つて銃撃せらるく各地産業は何れも削業以来共の問到なる計造と旺盛なる賃行力とに依り、一として推済せるものなく一続 念を以て國策産業の完成に孤進して居るのであるが、其の座右の銘とも見るべきものは第一に利用形生、躍野利用である。電

世界輕銀界の脅威となった

日曜木

朝鮮産の明礬石 **避進日本を表徴せる**

ば、國防工業の確立といふ事は、 事の出来ない重大問題である事は は関列野ともに寸階も忽せにする 例は一二にして止まるものではな 事業家群中の異形である事は、今 ナモンド、獨のイー・ゲー、米の る吹笛である いが、斯の如きは盗し其の最も顕一や内外に罷れ無き定跡である。さ 著なる一例たるを失はずと瞭信す れば削速のブルミニウムの外に、

重の如き語版に加へて野往果成の「立し、化聚製品自産自給の大施を「いか 福指を以て任じ、其の国立者にし 身たる日本沃度株式曾毗の時代よ 割下の関原的非常時局に鑑みれ一ものと見られてめる種である。蜀一登性を備へ、之を動かすに無々た 日本電氣工業の勇姿

同館のアルミニウム工業と衝安

産される開業製加里、硝酸管理、 同此の多角酸壁膏主義に基きて生」のと期待されてゐる 界の馴椒を伴ふ一大勢力となるも メロン・トラスト等を拮抗して世 ら之が實班の順には名質共に我國 の一シムボルそのものである。 同心は現在立本金二十五百萬四

一棟して輸出歯たらんとしてゐるをなし、短時日の中に輸入國より 智祉の撮影を見るのであるが、近 我國には既に十指に余る硫安型置

の合成に外國式特許を使用するに のには右の十数節點がアンモニア 世界工業日本を融らんとするた一

滄海を美田とする

質城與業株式會社

注目すべき合理的經營法

織して、逐次従来の輸入品を驅逐 すると共に、才を聴じて海外に同 解決の題、哨骸としての繊維及ブ 離保、警索肥料としての食館問題 る。却ち爆撃としての國防資源の

立と起眼に必要不可決なものであ

の職大売費に驱める把値できるが「するひでうらっ Ś 重大なるかと認識せらる」であら 其の産業界に於ける役割の如何に 従って海外諸國が厳つて寧素

もの十八墓館、水性瓦斯法によるもの十八墓館、水性瓦斯法による

萬地であつて、内水電解法による

力、コークス何れかの殿精質格能

費に具へ生産豊低下を合理権に具

るから、姿素肥粋の消費店は他園 由來我國は高度の集約農業國であ ×

でその金額は年本数千萬国に進し 迄の我國は世界最大の確安職人国 に比し極めて多く、故に放年以前 給すると共に海外市場への週出に 昭和肥料裁定會施川與工班全眾

- アドウドにて産産軍職協額社共の外、液化アンモニア及はアンモ

他改多化學工業的此个化學工業等

る。川崎丁基では確安の大量生産される登定で目下近々建設中であ つて題に七高幅の増産制設が完成 う。同今年中には水性瓦斯法によ 取せんとする 萬全の策と云ひ得や

| 組工業と共に近代化型工業の双筆 | 同心は我園に豊富なる電力の底料 野進途上にある化學工業日本は人 てるたのである。然しながら今や ければならない。 力供給館社東信電源との共同出資して昭和三年東京第短期にその電 が、國是としての警察工業を提出 化をその事業指数とする深盛地氏 の下に昭和三年十月創立せしめた 備ふる昭和肥料様式動性を語らな

一院警案生産十萬圃の能力を有し、 拠遺を行つてゐるが同工場生産の まとして石灰空素、カーバイドの ものである。同節肚鹿園工裏は石 年には陸軍式アンモニア配生法にく大量に供給してゐる、父昭和上 駆げて、その加速度的路段は少 製造し本形電球工業に貢献するな 一般してゐる外國産アルゴン瓦斯を 低る硝酸製造を開始し既に置く市 工業界の一大競異とされてゐる。 着々と他を抜する優秀なる業職社の斬新なる販賣政策と損戻っ ど其の経營に於ける積極政策は同 品版料として合成アンモニアを既

年度に至れば實に堂々五萬六千九 する豫定であるが、尚は昭和十九 ーを据付ける確定である 結果を俟つて最新式のドレッジャー途は森氏の大手腕と担俟つて誠に ソングを行ひつつあるが、調査の一も領域のその如く、同社々業の前 ほか同戦は野城江一帯の砂金属區 富なる水利を引用し、電路に於け 配施して居る。日下院水池にボー 9唯一の水力部選択である。この 獲得し、大規模なる採金事業を| **刊拓地で欧用貯水池の導水を利** 間仕事で五萬七千石の大名に列 たと云ふ事になるのであらう 電車業は前記の如 あらう

用するものであるが、それは全羅」を貸し、次で水力電軍事業を登み 原道環境部を貫施する密域正の翌一、之れに依つて 脱高經營法と断ずべきであり、名 合理能運營は全駐何れに於ても其しむるものであつて、斯くの如き 壁し、 財前記の如く先づ砂金採取 鍵水を更に流激用水として更生す

に導水の如何によつて巡營の成否由来朝鮮に於ける代表事業は一 の比を見ざる所、正に一石三島の 社は野内唯一の豊富なる貯水池を の岐路となるのである。然るに同 度利用されたる

豪素工業の樹元と野童は一國の锭 | 被設備を懸げて國産に戻ち、以て | カーバイドの一部は合成館般の製 昭和肥料株式會社 極力生産脱資の低下を計り、隆良 選に向けられてゐる。 化學工業日本の表象 採用し機能設備は過で回歴的総法で ある。聖造能力は確安生産二十七使用したる本部第一の確安工場で 祥々たるものありと云ひつべきで に 會 宴 御 に 文 社 御

切を純國産に誇る

京話

加里を 殿道し、題に長野縣 大町 一場に於てアルミニウムを選遣し

時三千百キロワットを離生し代

何であるが、更に共の提出するア

昭和五年より起工し、水力記述工 るものであつて、此の事業は去る 一方除刺指力を他に傲能せんとす

程堪工事の狀況

興年监製額の大半を光してるる質

其の年隆加は七千融に逐し、

我

であるが、斯くの如き大事業を見

總額五百萬圓の巨貴を投する整定

朝鮮出張所

同心は比の代が武士の完成法に

発行して行く所に森蓋麗氏の脳如

能して同能磁気成の場には一箇

業権式は織であり、現に同志は例一つて一千六百二十六町步の突田を

のは、世人別知の如く日本電源工学。

海面、面近二千八十五町歩像にわ 城面及び同道原典郡大西面地先の 、即ち至編度近近球形得級面、島

たる明立干渉を賦行し、されによ

是配料として同様アルミニュウ

即も配の頻解より産出する阻雾

見速すべからざる所であらら。共の一つに取上げて居る事は地底

| 関
動石として、
表が国
防工薬の
永 |
事業ことは、
人類が自然を
能服す

英の経資主流たる管域與業株式 質面採中型:二三二十番山路 を、現点出版所を東京市京都協 を、現点出版所を東京市京都協 を、現点出版所を東京市京都協 を五百萬個、泰敬越氏質弟森神

百五十五回の防密堤と、八百九一百五十五回の防密堤と、八百九一百五十五十五四の吹端に干五ば干布すべき海面の突端に干五度に譲るが、今其の概要を示せ

町歩の大貯水池を造營して、之築堤し、更に縮水面積百七十一十四間の防河堤の二大防河堤を

立

長

廣島縣豐田郡東野村

京城府南大門通

昭和鑛業株式

『治海を極じて美田を作る』 刊版

旨してゐるが、就中此の朝鮮産

地元朝鮮の事業外は風常の活

年の題系を解決し、新規化學 の規葉石が制度アルミニニウムの

一大変地の実践を増したる功識 登 主関が頻繁の中に、此の干が事業を断に特諾大陸に値するものと 鉄路事業の中に、此の干が事業を開いたのが議 登 主関が頻繁にかける域をの関います。

宮内省御用鐘 味の秦本舗 解政 鈴 木 西

異常に数字を成してるる。

その人を希一萬九千二百六十三名これに到す

六萬七十三百二十五名で五四屋、

坂田氏

航空廠入り

の増加人はは野五子九百五十九名 目徳用で乗ってさた水管浦穴市商の増加人はは野五子九百五十九名 日徳用で乗ってさた水管浦穴市の地域・新港で観楽部からの地域である。

今年の希望者三十三萬人

八學許可はわづか五割服

我選手でラソン練習ら向は孫基耐君前は鹽飽君

世界の鳥人十九名

我トリオ

= 宮庭は上から西田修平、大江季雄、安達清の我が極高跳トリオ

IJ

ルグ(スエーデン)はともに四十 ベスト六順位

利四點、ノルエー三點、アメリカ十一點、伊太

て第一日の五日午前十一時十分配

ースを一般に往後すること」なつ

直航飛行

樂々と成功

が軍がオナ

のるるから

主体注記ノ西尾南店 1



医单型小材 荣三







鳥員で多大

はび縮みに悩んで | 色々の御楽に失いむ色質を製造した空にでなった。 からメキーへと語り後非難した空にを対する。 ので最かれてあます。 ので最かれてあます。 ので最かれてあます。 大震で対撃と関係で対撃と関係で対撃と対した。 のではかれてあます。 大震では撃を関係では、 2000 日本ナミトで、大震で月分陥、東半月の深高を満月が緩かで、 2000 日本ナミトがより。 現合せて一個工工社会、送終門工会とかり報かるよりがある。 代金川語でも制管返中工ます。 代金川語でも制管返中工ます。 ROTE IN

オリムピック新記録米四八

圓盤投決勝

排菌療法公開

五日目

最寄の代理店にてお置上またか 解洞界走元 义以于商会本店 京城大阪

工的十 包状衣上 の 1719 オナシ 軍・手・の 1719 オナシ 軍・手・の 1719 オナシ 東京 1719 オナシ 東京 1719 オナシ 東京 1719 オリン 東東 1719 オリン 東リン 東京 1719 オリン 東京 1719 オリン 東京 1719 オリン 東京 1719 オリン 東京 1719 東子、選定六

-

※ 豆豆类

告に限り特に奇聞にて掲載す間五十銭匿名は即納の単但跳轍協関名は一回毎に五十五歳匿名は一回毎に五十五歳活字十五字。一色まれ

MIKOの番の番謡水局五0111番 小林叉七朝鮮,地圖部側販賣元は(型録進呈)

本一クレヨン

怪し空模様の中に

重歩と奈良師選手だ、熟活衝天の勢、百十米燥線には 積水、村上、古田また粉を並べて出陣、千玉百頭歩と奈良師選手だ、熟活衝天の勢、百十米燥線に送づたのは 我園のみである、我局切出場の五萬米燥高峰があるのだ、砂る蹠線は愈よ白線化した、我が紅楔勝を期しての 擦高速は果して大江、西田、日路線日本の真似を避旷し、初めての 日童ばを駅げ放園から鶴田した郷壁隊を歌源せしめた、けふは日路線日本の真似を避旷し、初めての 日童ばを駅げ放園から鶴田した郷壁隊を歌源せしめた、けふは日路のは、小り、元和日間盟日ベルリンモジケリエネワルドの 霧に腹雨した大変 控鈴玉日日、町「ベルリンスタギア ム五日間盟日ベルリンモジ

「ペパリンオリンピックスタギア

惜しくも失格

▲五日間型」段がホッケー代表軍

我がホツケ

輕く米國を

優勝候補の貫祿を示す

病の方へ

と急性の

干五日米は近郊一組に出塩の豫定

米競步にゆく

しい鳳飛を見せ、至韓閑散な平前「鰯つた一同はマラソン塔の下からて満く三回目に成功するなど廊は「奥三選手が、蜣螂一碗トラックを

日鉢巻の奈良岡選手

融となつて進み、我が景度闘選手

(日本時間午後九時半) 参加州三

カフエを先づ槍玉

学後はビシノ

にものもあり非常な疑問であつた

直クレヨン

簡配帯の鮮典の中に乾杯した朝鮮ホテルカルテット、ひかり知

· 整使水质前

射撃大會に が簡の活躍

鼻咽喉科醫院 戰 るれ売らかく効く効らかい良 格魯縣 別八円 特六円 港の円 平 点 堆 規 グッラド田有

特别等贝

明さ、心器はは壁川で帯部を楽譜度の魅力を有する内地人を楽譜度の魅力を有する内地人を楽譜度の魅力を有する内地人を

無法的業組へ言所組成だし

ち皮神婦胃 Lymin Market 特に 商経人版 初 前 病 前病 病 部品藥社會名合証離武 屋古名

は馬耳栗風の高鉄振り、その藍果」なつた
が、一般所はは然に富吏屋に於て「野立館のもとに原用せしめるとには馬撃の服用方をすすめてゐる。除風の管内国住郡会部に一々警察 漢江の河畔で

が、一般府政は然に富重層に於て「野立館のもとに展開せしめるら時の職職の服用方をすすめてゐる。除題の管内居住海会郎に一々奪問の撤職の服用方をすすめてみる。除題の管内居住海会郎に一々奪問の事をはいません。 三の兩日、

べる事がある。とて時に常習者で

五日、区京城敦城町大京底館を訪 を受けて來た、李昌植について調 た男『自分は西大門習煙事の承認

欺いて宿屋

を調べる男

2共に・研究は影を極め七月中赤 用しない書で、殊に が関内の赤刺は七月来明季に入 は、権病者の九組以上は内脉類を服

知識階級がその大半を占

豫防薬をのめと努力

今日の天気

内助してらた振動士が田澤書歌は、Wと新設とととくこと、65~5 明前派行型役にあつて観戒打士を とう砂磁網を組織、繋着町の空

たせもれ 一浴できく 虫に 温泉薬(各栗店ニアリ) 元二〇ハジブの一沿は!

著つて腓肘行きの底に出て來た

▼離龍氏

龍記子四

五段▼建 大民 ▽ 建

等二千國副增金附廿國**务二十國也割引勸業債券**

增金附廿趨勢二枚)

一、一、三等はお好みの一品進呈

大景品・総當り

向級 置 時 計婦人用晴丽象用洋傘 茶 セット 付ナイフー個数優美 色シャーブ ベンシ 樣 銷時 ル ー 個 個反個 反

· 常级整要 阳和十一年十月一日前後 · 常级整要 阳和十一年十月一日前後 · 常级整要 阳和十一年十月一日前後 · 常位 一日年上流域学、牧业量 - 中年上流域学、牧业量 - 中年上流域学、牧业量 - 中年上流域学、牧业量 - 中年上流域学、牧业量 - 中年一日和 加速新型合 - 中年一日和 加速新型合 - 中年一日

・送り先蜂ブドー酒本舗東京市日本橋屋室町一丁目

-規定

六日の番組

原鮮神宮人司阿知和安彦田開産議座後七三〇

同四時ニニース(頻悠通報、

表太夫 後八・五五

際人の動めもありまし

美濃屋の長)

分十五吋十萬午 師技局信選 雄嘉崎松

HONTO A COLE

3

世野口酒會

太郎 オハナシケ 対見への昔噺

度初の大きな護師に置いて長い

辑補制組 整理トークは共組総に介て一般超過機関独特質地群政治部が、(中)の 経済不全、勃起力減退、早つ、等に関して盗に他関語や突退せる効力 経済不全、勃起力減退、早つ、等に関して盗に他関語や突退せる効力 を認めたるを以て炎に木物の単対ある部を推奨する。

藤野・二々は人参。 鹿野、田宇龍の有効成分に「ヴィターミンB 野日 藤野・二々は人参。 鹿野、田宇徳の高野地のよりにして、 動館物を「ネル・ン」に答み補血器指作用差式にして人等の夏味自及なる部館なり。 寺に大大的女後大的墓跡、 食血、一穀草人等、前化小皮、塩田幼児、醋純核百種せ等に特効あり。

官私立病院御用達

展門 (登述) 日本語 (金額登目園・石田園 音・田田 三十面 日本日 (日本日 2000年) 日本語 (日本日 2000年) 日本日 2000年) 日本語 (日本日 2000年) 日本日 (日本日 2000年) 日本日 (日本日 2000年) 日本日 (日本日 2000年) 日本日 (日本日

懂

優一五十銀一テバートにある。日日に関土は